



関東厨房機器協同組合  
創立 30 周年記念誌

30年のあゆみ



関東厨房機器協同組合  
創立 30 周年記念誌

**30年のあゆみ**



鈴木理事長挨拶



熊谷相談役により乾杯



## 懇談の輪が広がる懇親会



会場椿山荘の庭  
平成2年10月26日開催

## 目 次

巻頭詞	3
祝辞	4
現職役員の紹介	10
30年の歴史創立から(昭和56年3月まで略史)	12
インタビュー 熊谷俊男氏	16
インタビュー 上野一雄氏	17
昭和56年4月から平成3年3月まで	18
組合の組織機構	28
インタビュー 小越栄治郎氏	29
「さしえ」にちなんで	30
組合員会社一覧(創立から平成3年3月まで)	31
歴代役員の変遷	32
各委員会の変遷	34
各委員会委員就任状況	35
常設委員会委員就任状況	36
組合員数と組合出資金の推移	38
各事業の変遷	39
表彰記録	42
編集後記	44



# 巻 頭 詞

関東厨房機器協同組合

理事長 鈴木 紘正

当組合は創立以来30年ありますが、過ぎ去った過去は早く感じられ、忘却されがちであります。しかし、これからの未来を限りない発展に期待する時、皆様とともに、30年の経過を思い起こし、今後の発展の糧といたしたいと思っております。

当組合創立以前も、業界としての会合の場は一応はございましたが、業界の将来を考えると、公の組織の場が必要であるとの考えから、初代理事長の木村秀吉氏を先頭に10人ぐらいの方々が発起人となり、組合創立を業界に呼びかけ、昭和35年11月発足となったことは皆様よくご承知のことと思います。

現在は、組合員87社、賛助会員8社を擁し、その総体の業容は業界に有数の地位を占めているものと自負しております。

当時は、ご承知のように厨房という企業は、まだまだ社会的に認められておりませんでしたし、組合を創っても組織運営に不慣れでありましたが、本日ご臨席いただいております関東通商産業局殿の前身であります東京通商産業局殿、並びに東京都中小企業団体中央会殿のご指導ご支援により、基礎を固めることができました。

その後の2～3年は、これも本日ご臨席をいただいておりますステンレス鋼板メーカー各社殿のご協力による共同仕入、商工組合中央金庫東京支店殿のご支援による融資斡旋と、事業を拡大してまいりました。また、首都圏のガス熱量の変更に伴い、これも本日ご臨席をいただいております東京ガス株式会社殿とのお付き合いが開始されました。

さらに昭和39年3月には当時の組合員の方々の資金拠出、ステンレス鋼板メーカー各社のご援助を得て、待望の厨房機器会館の竣工を見ました。

以上のような創業期を克服した後、幾多の紆余曲折を経て、今日では関東通商産業局殿より表彰を受けることができるような組合になったことは、皆様とともに誠に喜ばしいことと思います。我々はこの評価に甘んじることなく、さらにこれからの繁栄と進展に努力しなければいけないと思います。

幸いに、我々の顧客である外食産業はここ数年業容を拡大し、昨年度の総売上額は23兆7千億円に達し、厨房業界もそれに伴い、多少の差はあるものの進展をしております。しかしながら、最近の東欧情勢の激変、中東紛争の発生等による社会情勢の変化は、組合の置かれている環境にも変動が免れず、将来へのビジョンの形成が必要ではないかと考えます。

業界の繁栄は組合の繁栄につながります。どうか、今日お集まりの関連の皆様方、また組合員の皆様方、よろしく組合の発展にご支援ご協力をお願い申し上げます。組合もまた組合員の皆様方に今後も良質なサービスが出来ますよう努力する覚悟がございますので、重ねてご支援ご協力をお願い申し上げます。

# 祝 詞

関東通商産業局長

小島 幹生

関東厨房機器協同組合の創立30周年記念式典にあたり一言お祝いを申し上げます。

貴組合は昭和35年に設立以来30年の長きにわたり常に強固な組織と団結を維持しつつ、共同受注事業をはじめ、共同購買事業、共同宣伝広告事業、金融事業、教育情報事業等、数多くの共同事業を通じ、組合員の経営の安定と経済的地位の向上に努められ、業界の健全な発展に貢献してこられました。これも偏に理事長はじめ、役職員の方々並びに組合員の皆様方が中小企業等協同組合法の趣旨を十分に理解され組合の育成、発展に努められた賜と深く敬意を表する次第です。

また、本日は創立30周年を記念して功績顕著な方々に対し表彰が行なわれましたが、受賞されました皆様方の日頃のご努力に対し、深く敬意を表するとともに心からお喜び申し上げます。今後とも一段とご精進、ご努力を重ねられ、業界の発展のためにご尽力下さるよう期待してやみません。

さて我が国の経済は、戦後最長のいざなぎ景気をしのぐような勢いで好景気が持続していますが、日米構造協議に象徴されるように、我が国に対してこれまで以上に輸入拡大を求める動きや、大店法をめぐる流通機構改善への要請、またイラクをめぐる中東問題の勃発、あるいは構造的ともいえる人手不足の深刻化等々、中小企業を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。このような状況下で中小企業が今後とも健全な発展を遂げていくためには、持ち前の機動力と想像力を十二分に発揮しつつ、新たな環境変化に適切に対処していくことが、従来にもまして必要になってきております。その際、一般的に技術力、情報力、

マーケティング力等のソフトな経営資源に乏しいといわれる中小企業にあっては、個々の努力で対処することは極めて困難な面があり、企業間の連携、組織化を促進して協同の力で対処することが強く要請されるところであります。

関東通商産業局におきましても、このような認識に基づき、かねてより中小企業の連携、組織化支援を行なっているところであり、特に昨今では異業種グループの融合化、組合の情報化、活性化等に力を入れているところがあります。

厨房機器産業は、今日の食生活が多様化、高度化する中で欠かすことの出来ない産業分野であり、かつ、ゆとりと豊かさを求める国民生活文化の向上のために大きく貢献することが期待されております。貴組合におかれましても、この記念式典を契機に、中小企業等協同組合法によるところの相互扶助の理念に基づき一段と団結を強められ、一層活躍していかれることを期待するものであります。

最後に、貴組合並びに貴組合員の皆様のご健康とご活躍を祈念しまして私の祝辞といたします。

# 祝 詞

東京都中小企業団体中央会会長

菅谷 頼道

本日ここに、関東厨房機器協同組合が創立30周年を記念して盛大な式典と祝賀会が挙行されますことは、誠に喜ばしいことであり、心からお祝い申し上げます。

唯今、協同組合の認可官庁である関東通商産業局長から貴組合に対して表彰状が贈呈されましたが、このことは組合にとって誠に名誉なことであり、30年間にわたって組合発展のために努力された皆様方のご苦労が報われたものと拝察する次第であり、重ね重ねお慶びを申し上げます。

また、理事長から組合功労役員として表彰の榮に浴された方々は、組合の今日を築かれた立役者でもあり、そのご労苦に対して心から敬意を表するとともに、今後も健康に留意され、組合と業界発展のためにご活躍されますようお願いいたします。

また、永年組合員として表彰された皆様方は、組合の基礎を築き、輝かしい歴史を支えてこられたのでありまして、今後とも組合隆昌のためご努力されますようお願いいたします。

私共、中小企業団体中央会は、中小企業の組織化の推進と組合組織の健全な発展のための公的な機関であります。現在東京都内には約4,300の法律に基づく組合が設立されておりますが、そのすべてが順風満帆というわけではありません。創立10年にも満たずに解散や休眠に追い込まれる組合は、枚挙に暇がありません。

この様な状況にあって、貴組合は創立以来共同事業も活発に実施され、組合員企業の経営の近代化、体質の強化等に多大な貢献をされました。特に、昭和53年には関東通商産業

局長より「官公需適格組合」の証明を受けられ、官公庁や大口需要家から組合として共同受注の実績を上げられる等、常に時代の先端をいく事業に取り組み、協同組合としては最高の運営をしておられることは賞賛に値し、将に模範的な組合です。

私共が協同組合発展の三大原則として常にあげているものは、一つに組合役員の情熱と責任感、二つには組合員の理解と協力、三つには組合事務局の確立であります。貴組合にはそのすべてが十分に備わり、将に非の打ちどころのない組合であります。これも偏に歴代役員の方々のご労苦の賜であり、心から敬服を致します。

さらに、歴代理事長様におかれましては私ども中央会の理事として大所、高所から常に中央会に対して深いご理解、ご支援をいただき、この機会をお借りして厚くお礼申し上げますとともに今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、この30周年を契機とせられ、今まで蓄積された経験と実績を踏まえ、より一層団結を固められ、来るべき21世紀に向かって組合の益々のご発展と組合員の皆様方の限りないご隆昌をお祈りいたしまして祝辞といたします。



# 祝 詞

社団法人 日本厨房工業会

会 長 加藤 景德

このたび、関東厨房機器協同組合が設立30周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

貴協同組合は、昭和35年5月に、東京都を始め埼玉、神奈川、千葉、群馬、茨城、栃木各県の1都6県を事業活動区域とし、業務用厨房機器の製造・販売、設備・設計、施工業を営む者を中心に、組合員相互扶助の精神に基づき、共同事業や経済活動を通じて、同業者の資質向上を図り、もって地域経済の発展に寄与することを目的として設立されました。

初代理事長には木村秀吉氏が就任し、設立賛同企業32社によりその活動に着手されたことが思い起こされます。この間、貴組合はその設立目的に添って事業を推進され、創始期は特に物資供給がままならぬ時代により、共同購買事業の一環としてステンレス原材料の共同購入、資金の斡旋事業等を盛んに推進されました。これら事業の推進と併せて、昭和38年5月に組合員の発展と融和親睦、自主的経済活動の基盤または拠点を構築するため「厨房機器会館」の建設に着工、翌年3月に竣工されました。

このほか昭和41年から昭和45年の向上期には、資金の長期貸付制度を策定し、組合員に対する資金の転貸、厨房機器の価格表やカタログ作成により、仕入関係組合員に対する便宜供与、需要家への普及啓蒙活動等を展開されました。

また、組合員相互の親睦を通じ、かつ共通の拠りどころとする繁栄の広場、協調の広場、心の広場を醸成し、同組合を中心に組合員の体質強化を図るとともに社会的地位の向上を目指すべきであるとの理念に基づき、関係委

員会や業種毎の部会を設立され、第一次5ヶ年計画を策定されましたことと記憶します。さらに、貴組合員の事業活動は創始期、向上期とそれぞれの変革を経ながら、今日の成熟期へと発展移行されております。

これら諸事業の推進にあたり、これまで6代にわたり理事長の交替があり、各理事長がそれぞれの時代に即応した適切な判断と適切な指導の下、役員始め組合員相互の協力により数々の事業が展開され、今日の隆盛に至ったのであります。この間、経済情勢は激しく浮沈した時代もあり、これまで苦楽をともにされた組合員一同により、設立30周年を迎えられたことは、感慨ひとしおであると拝察いたします。これからの時代は「生活重視の産業社会」への転換が予想されることに鑑み、組合員の結束はもとより、業界挙げて真剣に対処しなければならないと存じます。

現在、社団法人 日本厨房工業会においても業務用厨房機器の生産、厨房設備の近代化や合理化、さらに災害の防止ならびに環境の保全に努めつつ、「国民生活のゆとりと豊かさの実現」に寄与するため、各種会議を通じて真剣にその討議を推進しているところであります。当工業会における諸事業の推進については、貴組合員各位の深いご理解とご協力が肝要であると存じます。どうか業界相互の発展に寄与するため、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

おわりに、貴組合並びに組合員各位のますますのご繁栄を心から祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

# 祝 詞

商工組合中央金庫

理事長 宮本 四郎

関東厨房機器協同組合が創立30周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

顧みますと、貴組合は昭和35年11月、共同事業などを目的に組合員32名の方々により設立され、以来、昭和39年の厨房機器会館建設を筆頭に協同購入の推進、金融事業の拡充等、業界の中核として積極的な活動を展開され、今日では組合員85社を擁するまでに成長されたのであります。これもひとえに、鈴木理事長はじめ歴代役員ならびに組合員の皆様のご努力とご熱意によるものと、深く敬意を表するものであります。

貴組合と私ども商工中金とのお取引は、昭和36年2月以来であります。厨房機器会館建設資金の一部ご融資に始まり、貴組合事業のご発展とともに拡大を重ね、当金庫の有力なお取引先として緊密なお取引をいただいている次第でございます。ここに平素のご愛顧とご支援に対しまして厚くお礼申し上げます。

さて、好調を続けてきた我が国経済は、ここにきて労働需給の逼迫、インフレ圧力等の影響を受け、少し減速してきたとはいえ、なお戦後最も長く続いた「いざなぎ景気」に迫る拡大を保ち続けております。しかし、現在の景気は市場が単純に量的な拡大を続けているという状況ではなく、一方では質的な変化も同時に起こっています。国民ニーズの高度化、多様化、業際化、国際化等の一層の進展がそれであります。

これらの環境変化は、機動性に秀でた中小企業にとって活躍の場を拡大させるチャンスでもあります。そのためには市場のニーズを的確に把握し、それに適合した対応を図るための情報、技術マーケティング、それを支え

る人材等、多様な経営資源が必要とされます。

これらの経営資源を中小企業が1社で保有することは容易なことではありませんが、お互いに活用し合うことでこれを補うこともできると思われます。その意味でも、貴組合が今後さらに40周年、50周年へのご発展されますことを切望して止みません。

私ども商工中金といたしましても、「中小企業の良きパートナーとしてともにチャレンジする」という精神で、金融面はもとより、経営情報サービス等（営業、不動産活用、事業継承、M&A他）においても皆様方のお役に立ちたいと念願しております。なにとぞ、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、関東厨房機器協同組合の益々のご発展と組合員皆様方のご繁栄を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

# 祝 詞

東京ガス株式会社

専務取締役 秋山 哲郎

関東厨房機器協同組合が30周年を迎えられましたことに対して、衷心よりお祝いを申し上げます。

今日、厨房業界を取り巻く環境は、都市化の進展による小規模店の減少、地価高騰による外食産業の出店停滞など厳しい状況が現出しているように思われますが、その中において貴組合が厨房業界ならびに関連業界発展のために果たしてこられた指導的役割は、敬服に値するものであります。これは、組合員各位の固い結束および弛まぬ進取の気風の成果だろうと感服しております。また、今日まで多大の業績を挙げてこられたことに対し、深甚なる敬意を表します。

さて、イラクによるクウェート侵攻に始まった中東紛争は、多国籍軍の勝利によって終結しましたが、我が国のエネルギーに関しましては、過去のオイルショック時の学習効果により、大した混乱もなく経済の停滞を引き起こしはしませんでした。しかしながら、世界のエネルギーの多くを中東に依存している国際経済構造は、数次にわたる中東紛争により大きく影響を受け、さらに今回の湾岸戦争により各国ともエネルギーのセキュリティの必要性について再認識したところであります。一方、地球温暖化、酸性雨による森林破壊、オゾン層の破壊など地球規模での環境問題の解決も大きな課題となって参りました。これらの課題を解決するために、先進各国の果たすべき責任は真に重要であります。とりわけエネルギー多消費国であり、科学立国である我が国は、これらの問題の解決策である省エネルギーに真剣に取り組むべきだと考えます。私どもは、首都圏のお客様に対し、都市ガ

スを安定的・効率的かつ安全にお使いいただくことを通して、総合的に快適な都市生活を享受していただく使命を担っており、その責務を果たすため、原料の長期安定確保と保安の確保に万全を期しております。特に現在、原料の85%を占めておりますLNG（液化天然ガス）は、昭和44年に我が国で初めてアラスカから導入いたしました。その後ブルネイ、豪洲、マレーシア等、政治状況の異なる太平洋圏の国々から導入を図り、我が国のエネルギー政策である脱石油、脱中東を積極的に推進しております。

また、快適な生活をご提供する観点から、ガス機器の開発に関しましても省エネルギー化、熱効率の向上、機能性・設置性の改善等を一層充実すべく努力いたしております。特に厨房機器分野に関しましては、貴業界のお力を借りながら、お互いの英知と創意を出し合い、開拓に努め、外食・中食・セントラルキッチン等、あらゆる業態に対応させていただきたいと考えております。

我が国の経済情勢は、過去にないほどの繁栄に終止符を打とうとしている転換期にありますが、このような時期にこそ経済基盤に係わるエネルギー対策が企業生命を左右すると考えられます。従って、貴業界はもとより私どもも将来にわたって大きく飛躍するため、従来にもまして緊密な連携を維持して参ることが肝要であると確信しております。

終わりにあたり、30周年を迎えられました貴組合が、今後益々繁栄され、関東地区における経済社会の発展に大きく寄与されることを念願するとともに、組合員各社の一層のご発展を祈念いたします。

# 祝 詞

東海調理機器協同組合

理事長 加藤 菟扨

関東厨房機器協同組合が、創立30周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴組合におかれましては、関東地区業界はもとより全国各組合のリーダーとして、今日の厨房業界発展に導かれた歴代役員の方々のご苦勞を思う時、同じ組合員として心より皆様方に敬意を表するものでございます。

私ども、東海調理機器協同組合もおかげをもちまして30周年を迎えさせていただき、より組合員相互友愛を大切にし、教育活動ならびに和を基本とした組合活動を行なっていきたいと思っております。

さて、今日、食産業の著しい発展に伴い、大きく厨房業界も変化してきています。食生活の向上とともに、食材の多様化に伴い、調理場全体の環境整備や設備機器の充実をより高度化して、外食産業界に対応していかねばならない時代に入ってきたと思います。

一方、我々業界においても、労働力不足は深刻な問題であり、そのためにも組合相互のより一層の協調を確立していくことが必要であると思えます。

末筆ながら、貴組合の益々のご発展と組合員皆様のご繁栄を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 祝 詞

近畿厨房機器協同組合

理事長 福島 信夫

関東厨房機器協同組合の皆様、創立30周年、誠におめでとうございます。30年のうちには、様々な困難がおりになったことと思いますが、それらを乗り越えられてきた皆様方の情熱とご努力に深く敬意を表わす次第です。

さて、私ども厨房業界は、数多くの問題に直面しております。人材不足、人件費の上昇、収益率の低下、短納期化といった問題がそれです。これらの問題を解決していくために、私ども協同組合にできることは、内外の情報の収集と提供、業界動向の把握、人材教育・技能研修といった教育事業の強化などが考えられます。

ところで、私どもの最大のお客様でありますフードサービス業界におきましても、同じような問題をかかえているようです。このような問題に対して、私どもは、人的にも、機能的にも、またエネルギー面でも効率のよい機器・システムの提供をしていかねばなりません。そして、最近、特に問題になっております環境問題についても、今後、早急に解決していく必要があります。

このように私どもの業界をとりまく環境は、たいへん厳しいものであります。しかしながら、今こそ私ども協同組合という機構を最大限に生かして、フードサービス業界に大いに貢献するとともに、厨房業界自体の活性化をしていく時であると感じています。

末筆ながら、貴組合ならびに組合員の皆様方の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

# 現職役員

代表理事



鈴木理事長

副理事長



細山副理事長



深沢副理事長



尾崎副理事長

理事



上野理事



榎本理事



丹羽理事



采沢理事



二階堂理事



谷口理事



梶原理事



富士田理事



佐藤理事



村田理事



柳屋理事



小越 (万米) 理事



桐山理事



中川理事



楢垣理事

監 事



横山理事



長宗(監事)



佐藤監事



熊谷(俊範)監事

相 談 役

物故役員

(昭56/4~平3/3 物故順)



熊谷(俊男)相談役



小越(栄治郎)相談役



秋元元理事  
(S57/1没)



河内理事(事務局長)  
(58/5没)



梅田理事  
(59/4没)



岩崎元理事  
(60/3没)



村田理事長  
(61/2没)



徳増副理事長  
(61/7没)



鈴木相談役  
(H2/7没)

## ◆組合設立までの経緯◆

昭和31年2月18日、東京を中心として厨房業界の総合設備業者と専門機器製造業者の親睦と横の連絡機関として、厨房設備協和会が生まれた。同会は会員の福利増進と業界の社会的地位の向上発展を図っていたが、協和会設立当初よりの懸案であった協同組合への移行について、昭和35年5月21日の協和会総会で満場一致で決定。同年8月19日に観光会館で創立総会を開催し、組合員32名、出資金96万円で、協同組合が設立された。同年10月27日東京通産局の認可を得て、11月2日設立登記を完了し、関東厨房機器協同組合は正式に公認団体としての第一歩をふみ出した。

業務用厨房業が、独立した業界として、専門業者が存在し始めたのは、明治20～22年頃からといわれる。石炭や粉炭・重油を熱源としたストーブを製作していた、当時のいわゆる鋸掛け屋・ブリキ屋が、外国製レンジを真似てその名も新しい料理用石炭ストーブを製作するようになり、そして調理器類が国産化され始めた。昭和の9年には、早くも「東京料理用ストーブ製造業組合」が設立され、その後「東京食品加工器同業組合」「調理器工業協会」なども結成されている。中には軍部からの資材調達を目的とした団体もあったらしいが、その後、「東京鉄鋼器具工業組合」(18年)「日本厨房改善協会」(27年)「学校給食設備協同組合」(30年)や、「日本家庭炊事用具協会」などの組織化が次々と行なわれていった。

昭和31年2月、当組合の前身である「厨房設備協和会」が20数社で結成された。当時全国にも「関西厨房機器組合」「東海北陸厨房設計監理協会」等が各々、現在の協同組合の前身母体として存在していたが、協和会の規約にはすでに当時から公的機関としての協同組合への移行が目的として条文化されていた。協和会自体は、名簿や会報の発行、営業社員の懇談会など、業界の進歩改善と親和団結のための活動はしていたが、軸となる事業がなく、寄合い会合的印象が強かったようだ。

昭和33年3月15日に新橋駅近くの日本食堂で開催された定時総会で、当組合の設立発起人代表であり初代理事長でもある木村秀吉氏より協同組合化への移行について発言があり、それを受けて次回の総会で協同組合への移行を決議し、具体的な準備段階に入ったのである。

## 組合設立に参加した人達

発起人代表：木村 秀吉 (木 村)  
発 起 人：岩倉 好松 (三 陽)  
秋元時一郎 (秋 元)  
熊谷 俊男 (富 士)  
宮本留一郎 (宮 本)  
谷 武雄 (千代田)  
矢野 四郎 (第 一)  
同 意 者：馬場鋭之助 (東 郷)  
五十里元秋 (イカリ)  
梅田 勝徳 (日 調)  
細山 礼吉 (細 山)  
松崎 平 (松 崎)  
矢ヶ崎真吾 (森 井)  
尾崎 新治 (尾 崎)  
吉村 謙三 (吉 村)  
落合 完二 (八 洲)  
袴田 長吉 (袴 田)  
上野 一雄 (上 野)  
椿 藤次郎 (椿 )  
中村 貴行 (中 村)  
碓井 達雄 (福 本)  
村田 幸吉 (村 幸)  
伊藤 一郎 (伊 藤)  
中谷 宏 (鷲 尾)  
今福 治俊 (竹 村)  
鈴木 啓之 (鈴 木)  
林田 末喜 (林 田)  
永井巳之助 (永 巳)  
徳増久五郎 (徳 久)  
林 全一郎 (林 )  
佐藤 仁助 (佐 藤)  
織内 経緯 (東 泉)

**昭和35年度** (昭和36年 3月31日現在/  
組合員32社 出資金96万円)

35. 5. 21 厨房設備協和会総会  
◎協同組合への移行・設立決定
8. 19 創立総会(丸の内・観光倶楽部)  
◎創立時に必要な12試案を議決  
◎理事長木村秀吉、副理事長馬場鋭之助・熊谷俊男他の役員を選出  
◎出資金96万円で組合誕生  
◇設立同意者32名全員出席(委任状4)
10. 14 ◎東京通商産業局へ組合設立認可申請提出
10. 27 ◎「東産認協第465号」で認可
11. 2 ◎組合設立登記完了
11. 14 ◎東京都中小企業団体中央会へ加入
36. 2. 6 ◎東京都商工組合連合会へ加入

**昭和36年度** (昭和37年 3月31日現在/  
組合員39社 出資金117万円)

36. 5. 12 第1回通常総会(虎ノ門共済会館)  
◎役員改選/理事長木村、副理事長馬場・熊谷をはじめ全員留任  
◎借入限度5千万円、貸付限度2百万円、加入金額5千円等を前年通り可決◇出席24名
10. 30 ◎関西厨房機器協会に物品税対策・工業会設立の協力要請文を送付
37. 1. 12 ◎理事会(芝宮本)で、全国炊事用具協会を併合して、全国厨房機器工業連合会の組織強化等を協議

**昭和37年度** (昭和38年 3月31日現在/  
組合員53社 出資金1,208万円)

37. 5. 9 ◎全国厨房機器工業会設立世話人会/世話人は木村他16名
5. 26 第2回通常総会(翠明館)  
◎加入金30万円等決議
6. 25 ◎全国厨房機器工業会の創立総会を開催(虎ノ門共済会館)

**昭和38年度** (昭和39年 3月31日現在/  
組合員54社 出資金2,618万円)

38. 5. 7 第3回通常総会(吉野旅館)  
◎理事長木村、副理事長馬場・熊谷・岩倉好松他の役員を選任  
◎役員定員を13名以内から15名以内に定款変更◇出席47名
5. 13 ◎厨房機器会館地鎮祭
6. 2 ◎木村氏を団長とする総勢16名の欧米視察団が、羽田から出発
39. 3. 17 ◎厨房機器会館竣工

**昭和39年度** (昭和40年 3月31日現在/  
組合員54社 出資金2,970万円)

39. 4. 22 臨時総会  
◎会館会議室の組合員初会合として臨時総会開催
5. 15 第4回通常総会(翠山荘)  
◎事務局所在地定款変更◇出席49名
11. 7 臨時総会(第一ホテル)  
◎第1回優良従業員表彰式(44名)

**昭和40年度** (昭和41年 3月31日現在/  
組合員54社 出資金3,240万円)

40. 5. 26 第5回通常総会(大和館)  
◎役員改選/理事長木村、副理事長熊谷・岩倉・谷他の理事を選出◇出席50名
11. 2 臨時総会(翠山荘)◇出席52名  
◎第2回優良従業員表彰式



昭和**41**年度 (昭和42年3月31日現在/  
組合員56社 出資金3,360万円)

41. 5. 25 第6回通常総会(熱海後楽園)  
◇出席44名
7. 27 ◎工業会の社団法人設立記念  
祝賀会開催(赤坂プリンスホテル)
11. 8 臨時総会(赤尾ホテル)  
◎組合員の増加に伴い、地区を  
神奈川まで拡大すること等決議  
◇出席50名
42. 1. 6 ◎名刺交換会を工業会と共催で開催

昭和**42**年度 (昭和43年3月31日現在/  
組合員59社 出資金3,540万円)

42. 4. 20 岩倉好松副理事長逝去
5. 24 第7回通常総会(翠山荘)  
◎役員改選/理事長木村、副理事長  
熊谷・谷他の役員選出◇出席51名
11. 8 臨時総会(翠山荘)◇出席58名

昭和**43**年度 (昭和44年3月31日現在/  
組合員58社 出資金3,480万円)

43. 5. 29 第8回通常総会(富士屋ホテル)  
◇出席50名
11. 7 臨時総会(さかみや)◇出席51名  
◎第5回優良従業員表彰式(42名)

昭和**44**年度 (昭和45年3月31日現在/  
組合員59社 出資金3,460万円)

44. 5. 16 第9回通常総会(起雲閣本館)  
◎自動車事業の発足に伴い、定款  
を変更◇出席52名
11. 12 臨時総会(さかみや)◇出席47名  
◎第6回優良従業員表彰式(41名)

昭和**45**年度 (昭和46年3月31日現在/  
組合員59社 出資金3,420万円)

45. 5. 18 第10回通常総会(ホテルおかだ)  
◇出席53名
10. 28 ◎組合創立10周年記念式典  
(鉄道会館ルビーホール)
11. 26 ◎第7回優良従業員表彰式(35名)

昭和**46**年度 (昭和47年3月31日現在/  
組合員60社 出資金3,440万円)

46. 5. 18 第11回通常総会(銀扇楼)  
◎役員改選/理事長秋元、副理事長  
熊谷・椿良輔他の理事選出  
◇出席49名
11. 17 臨時総会(椿山荘)  
◎木村秀吉、細山礼吉両氏へ感謝状  
と記念品贈呈◇出席54名  
◎第8回優良従業員表彰式(39名)

昭和**47**年度 (昭和48年3月31日現在/  
組合員72社 出資金3,680万円)

47. 5. 23 第12回通常総会(赤尾ホテル)  
◎熊谷俊男を理事長に互選  
◇出席52名
7. 29 木村秀吉相談役(初代理事長)、逝去
11. 8 臨時総会(さかみや)◇出席57名

昭和**48**年度 (昭和49年3月31日現在/  
組合員85社 出資金3,960万円)

48. 5. 22 第13回通常総会(大和ホテル)  
◎役員改選/理事長熊谷、副理事長  
上野・梅田他の理事を選出  
◇出席65名
11. 9 臨時総会(椿山荘)◇出席62名  
◎第10回優良従業員表彰式(45名)

昭和**49**年度 (昭和50年3月31日現在/  
組合員88社 出資金3,980万円)

49. 5. 21 第14回通常総会 (吉野旅館)  
◇出席79名  
11. 7 臨時総会 (椿山荘) ◇出席77名  
50. 3. 10 手塚信一理事事務局長逝去

昭和**50**年度 (昭和51年3月31日現在/  
組合員88社 出資金4,000万円)

50. 5. 8 河内泰治事務局長任命  
5. 21 第15回通常総会 (東京会館)  
◎役員改選/熊谷理事長、上野・梅田副理事長他の役員を選出  
◇出席74名  
11. 11 臨時総会 (椿山荘)  
◎東京ガス(株)からの天然ガス転換協力要請に基本的に協力を決議  
◇出席75名  
◎第12回優良従業員表彰式 (74名)

昭和**51**年度 (昭和52年3月31日現在/  
組合員90社 出資金4,040万円)

51. 5. 21 第16回通常総会 (パレスホテル)  
◇出席66名  
8. 19 尾崎新治理事逝去  
11. 5 臨時総会 (椿山荘) ◇出席76名  
◎第13回優良従業員表彰式 (43名)

昭和**52**年度 (昭和53年3月31日現在/  
組合員86社 出資金3,830万円)

52. 5. 26 第17回通常総会 (吉池)  
◎役員改選/熊谷理事長、上野・梅田副理事長他を選任◇出席81名  
11. 9 臨時総会 (椿山荘) ◇出席70名  
53. 3. 1 ◎官公需共同受注適格組合の証明を受ける ※53東産商第1545号

昭和**53**年度 (昭和54年3月31日現在/  
組合員87社 出資金3,810万円)

53. 5. 8 秋元時一郎相談役 (元理事長) 逝去  
5. 24 第18回通常総会 (吉池) ◇出席64名  
11. 9 臨時総会 (椿山荘) ◇出席60名  
●この年、「日本業務用厨房企業名鑑」発行

昭和**54**年度 (昭和55年3月31日現在/  
組合員93社 出資金3,890万円)

54. 5. 11 第19回通常総会 (椿山荘)  
◎役員改選/熊谷理事長、上野・梅田・細山副理事長他の役員を選任  
◇出席68名  
11. 9 臨時総会 (椿山荘) ◇出席71名

昭和**55**年度 (昭和56年3月31日現在/  
組合員91社 出資金3,960万円)

55. 4. 3 細山礼吉相談役 (元理事) 逝去  
5. 28 第20回通常総会 (ホテル奥湯本)  
◇出席84名  
12. 4 創立20周年記念式典 (椿山荘)  
56. 1. 25 村田幸一理事逝去

# 組合30年の思い出

熊谷 俊男

もう組合創立30周年ですか、早いものですね。昭和35年に組合として正式に認知されたわけですが、それまでは協和会という親睦団体がありまして、集ってよく喧嘩しましたよ。宮本さんや泉工業の佐々木さんやら新橋駅のレストランに集って、とにかく商売敵だからお互いに同業者が商売の話すりゃあ、取った取られたで喧嘩になる。そんな時代でした。まあ、そんなこんなで公的な組合を作ろうと、木村さん、梅田さん、岩倉さん、椿さんなんか、夏の暑い日に芝大門の精養軒の2階で議論したものです。木村さんが初代理事長、私と馬場さんが副理事長、事務局長が手塚さんでスタートしました。

昭和38年には組合所有の会館を持つと、当時の組合員から60万ずつ出しあったのかなあ。現在の額に換算すると、大変な額ですが、みんなよく出してくれましたよ。

その年、東京オリンピックの前年ですが、欧州へ厨房の研修に行きました。実に40日間にわたって、デンマーク～スウェーデン～ノルウェー～ドイツ～スイス～フランス～オランダ～イタリー～イギリス～エジプト～香港～台湾～まわってきました。当時ドルも割り当てでしたが、よく思い切って組合研修旅行をしたものです。羽田では社員がみんなで見送りに来て、花束贈呈や横断幕を下げたり、大変でしたよ。いまじゃ考えられませんか。総勢14名だったかな。当時のメンバーでいま元気なのは私と上野、細山、尾崎さんくらいかな。

昭和47年には秋元理事長の後を受けて理事長になったのですが、繁栄の広場、協調の広場、心の広場を組合の運営理念にしました。組合員というのは同じ仕事をやっている仲間なんだから、相反していくのではなくて、足りないところは助け合い分けあい、協調するのが業界の発展であり、いつもいがみ合っていたんでは業界の発展にならな

いというのが私の基本的な考えであったわけです。

今年30年になったわけですが、いまでは厨房業界としてある程度認知されたと思います。

組合が出来てしばらくして工業会を作ったのですが、組合と工業会は性格が違うんだから同じ人がやっていたのではいけないというのが私のポリシーでした。その当時は組合にしても工業会にしても小さかったでしょう。ですから、別の人がやって切磋琢磨したほうが良いと考えたわけですから、今日の組合と工業会があるのではないかと思いますね。いまになれば、なにもそんなことを言う必要もないでしょう。きちっと両方出ていますからね。

これからの組合運営も組合そのものが昔と違った存在となってきましたから、大変でしょうが、よろしく願いますよ。



# これまでの組合、 これからの組合

上野 一雄

## ①会館建設の頃

あの頃は理事会をやるのに苦労したね。とにかく自前の会議室なんてないんだから。理事長の木村さんが非常に理解があったから、田村町の木村製作所の会議室を借りたり、大門の精養軒の2階で会食しながら会議をすとか、そのたびにあっちこっちと場所探しにひとほね折ったよ。

組合の前身の協和会の発足の会合は新橋ステーション2階の日本食堂だった。そのあと手塚さんが事務局長として来てくれたんだが、座る場所がないんだな。木村製作所の事務所の片隅で苦労したようだね。そんな状況なもんだから事務所が欲しいと思っていたところ、熊谷さんが今の会館の土地を見付けてくれて本当に助かった。しかし建物を作るにも金がない、そこで商工中金から借金するやら役員諸公から借入するやらで、いろいろあったけれども今では立派な財産だね。

## ②100年の思い出

明治、100年というのが昭和43年で、いろんなところで100年行事が盛んに騒がれていたのだから、組合でも割烹台と呼ばれていたような時代からの100年の業界の生い立ちや業者の動き、また業界人の消息など記録に残したら、という話が出て、今のうちなら明治生れの人も現役だし、後世に遺すには絶好のチャンスだということで、担当役員も決めて動き出したんだけど、肝心の財源がない。それを見かねて細山熱器の先代社長が、ポンと100万円を寄附して下さった。100万円は今の現金にしたら大変な額だね。しかし結局その後20年誌は出来たけれどもいつの間にか100年誌の話は立ち消えてしまったね。出来ていれば本当に貴重な資料で、残念だね。細山先代社長には誠に申し訳ないことをしてしまった。

## ③カロリー転換

東京ガスが昭和40年頃、熱量変更をやった。その1番の槍玉にあがったのが中華レンジ。COが出る、不完全燃焼だからダメというわけ。ところが当時のコック側から見た中華レンジというのはいくらCOが出ようと、炎が長くチャン鍋に入り込む位でないと調理したうちは入らないというんですね。不完全燃焼一危険という関係よりも目の感覚で料理をするんだねえ。なにしろ薪、コークスからスタートしているから。一事が万事、プロが料理するから……という姿勢があったね。

組合も全面的に熱量変更には協力しましたよ。そうすることによって燃焼器具のノウハウを東京ガスへ提供したわけで、東京ガスは分析し、集大

成して今日の熱量コントロールの方式を確立したんじゃないかと思えますよ。

## ④業務用厨房の将来

過去の10年から15年というもの、組合員の世代交代が相当進んできたでしょう。また厨房機器の変わりようもかなりなものです。いわゆるコントロール製品が多くなってきている。東京ガスさんにはいいにくいけれど、電気厨房が相当盛んになってくるんじゃないかな。熱エネルギーから見た場合、安全、衛生、コントロール等の面で比較されると思えますよ。コストの問題では充分大刀打ちできても、環境問題が前面に押し出されている昨今の社会情勢では、むづかしい局面だと思いますね。私どもとしては、より一層クリーンで、安全で、効率的な器具の開発をしなければ立ち遅れますね。

## ⑤組合について

いまは転貸融資が必要なくなってしまったね。これは組合員企業の体質も強化されたし、市中銀行の対応がよくなったんでしょね。昔は組合活動の大きな一つの柱だったわけで組合員もそれなりのメリットがあったわけですよ。しかし事故もつきもので相保証とか保証会を作って対応するとかで、えらい苦労をしたね。

今続いているのは共同購入、共同受注で、これは私は組合活動の根本理念であり、非常に大事な事業だと思いますよ。

それにしても組合創立当初からの野球大会、ボーリング大会、卓球大会、将棋大会等の親睦行事は廃れましたね。今なんとか続いているのはゴルフ会だけですか。私はね、これから仕事を進めていくうえで絶対必要なのは、遊び一ゆとりクリアランスだと思いますよ。

私事で恐縮だが、私の住んでいる江戸川区では区長が先頭になって、この問題に取り組んでいるので、潤いのある街に生れ変わっていますよ。組合も、一服の出来る場所であり、また憩いのオアシス的要素のある場所であることも必要じゃないのかな。睦み合ううちに刺々しさも丸みを帯びたものになると思いますよ。

これからの組合を考えた時に、存在そのものが問題になることもあるかもしれないけれども、先の理事長の熊谷さんが言われたように、組合というものは繁榮の広場であり、協調の広場であり、また心の休まる共同の広場であって欲しいものだと思いますね。

# 関東厨房機器協同組合30年の歴史 (昭和56年～平成2年)

昭和**56**年度 (昭和56年4月～57年3月)

昭和57年3月31日現在  
組合員数 91社 出資金3,960万円

- 56.4.16 第1回理事会 (13名)  
◎第21回通常総会提出議題審議  
◎機器接続工事資格認定制度の審議  
◎業界外大手企業の進出問題に関する対応審議
- 5.7 第2回理事会 (14名)  
◎第21回通常総会提出議案承認  
◎業界外大手企業進出阻止について審議
- 5.19 第21回通常総会 (箱根奥湯本)  
◎法定の通常総会の決議事項決議  
◎業界外大手企業進出阻止に関する事項決議  
◎役員改選/熊谷理事長 上野・細山・鈴木各副理事長他を選出◇出席85名
- 6.23 第3回理事会 (17名)  
◎業界外大手企業進出阻止について審議  
◎昭和56年度事業計画推進について審議  
◎組合員脱退承認 (富士エンゼル)
- 7.29 振興委員会  
◎昭和56年度事業計画推進について審議  
◎組合員企業従業員表彰規程見直しについて審議
- 7.29 第4回理事会 (16名)  
◎業界外大手企業進出阻止に関する業界側の対応について審議  
◎各委員会報告  
◎東京都中小企業団体中央会組合功労表彰者推薦審議
- 9.4 振興委員会  
◎昭和56年度版「日本厨房企業名鑑」編集状況報告
- 9.4 第5回理事会 (18名)  
◎各委員会報告  
◎組合員企業優良従業員表彰式の実施及び表彰規程の見直し審議  
◎臨時総会の日程決定  
◎熊谷理事長の辞任承認及び上野理事長、宮本副理事長選任
- 10.1 正副理事長会  
◎組合施策の重要課題として協業化、分業化、専門化の目標を示した「生き残れる企業集団」について審議
- 10.9 第6回理事会 (17名)  
◎各委員会報告  
◎組合員企業優良従業員被表彰者審査  
◎臨時総会議題審議
- 10.16 技術小委員会  
◎推奨制度扱い組合員製品審査
- 11.11 共同保証会  
◎昭和56年度事業資金転貸申し込み審査
- 11.12 臨時総会 (東京椿山荘)  
◎業界構造の見直しについて◇出席76名
- 12.8 技術委員会  
◎鉄管器具接続資格認定試験講習会開催について審議  
◎推奨制度扱い組合員製品審査
- 12.8 第7回理事会 (16名)  
◎各委員会報告  
◎新年賀詞交換会開催について審議
- 12.17 共同保証会  
◎役員改選  
◎返済期間等要望事項を理事会具申事項として取りまとめ
- 57.1.2 秋元元理事逝去
- 1.7 新年賀詞交換会 (東京椿山荘)
- 3.1 正副理事長会  
◎組合機構改革の検討  
◎東京ガス(株)科学万博参加に伴う協力方針要請について検討
- 3.3 委員長会  
◎東京ガス(株)科学万博参加に伴う協力方針要請について検討
- 3.10 正副理事長・各委員長合同会  
◎組合機構改革基本構想検討
- 3.26 第8回理事会 (16名)  
◎機構改革基本構想決定  
◎第22回通常総会提出議案審議  
◎組合員加入承認 (クレヴァーサービス)  
◎共同保証会要望事項審議

- 57.5.1 第1回理事会（15名）  
◎第22回通常総会提出議案審議
5. 25 第22回通常総会（箱根奥湯本）  
◎法定の通常総会の決議事項決議◇出席84名
6. 15 第2回理事会（13名）  
◎機構改革にもとづく事業計画の実施について審議  
◎組合員脱退承認（イースタン商会）
7. 13 第3回理事会（17名）  
◎機構改革にもとづく事業計画の実施について審議  
◎東京都中小企業団体中央会組合功労者表彰推薦審議
8. 23 技術開発委員会  
◎機器接続工事に係わる賠償責任保険の加入について審議
8. 23 生産委員会  
◎素材の調達について審議  
◎機械設備の相互利用化について審議  
◎グループならびに異業種提携による共同開発について審議
8. 30 技術開発委員会  
◎技術講習会の開催日程決定  
◎ガス可とう管接続工事制度の活用審議
9. 2 共同受注委員会  
◎組合員への工事配分状況審議  
◎事業計画の推進について審議
9. 3 共同購入委員会  
◎取扱商品の拡充審議
9. 14 政策指導委員会  
◎事業計画の推進について審議  
◎組合員企業優良従業員表彰規定見直し審議
9. 14 第4回理事会（19名）  
◎委員会報告  
◎臨時総会日程の決定  
◎今年度の転貸要項の決定  
◎組合員加入承認（鷹製作所）  
◎組合員脱退承認（伊藤厨房）
10. 27 第5回理事会（17名）  
◎組合員企業優良従業員表彰審査  
◎組合運営推進のためのアンケート調査結果報告
11. 9 臨時総会（東京椿山荘）  
◎昭和57年度中間事業報告◇出席67名
11. 19 技術開発委員会  
◎ガス事業法施行規則一部改正に伴う対応審議  
◎組合商品「蒸し器」の東京ガス試験結果報告
12. 7 共同購入委員会  
◎ガス漏れ探知機の一括購入について審議  
◎取扱商品の追加審議
12. 7 第6回理事会（18名）  
◎委員会報告  
◎組合員加入承認（フジガス工業・クックマンキンシナミ）  
◎新年会日程場所決定
- 58.1.7 新年賀詞交換会（東京椿山荘）
2. 4 共同受注委員会  
◎修理料金基準の設定を審議  
◎厨房機器標準価格表の改訂審議  
◎東京ガス浜松町ビル工事報告
2. 16 生産委員会  
◎産業用ロボット導入化のための情報提供検討  
◎素材関係（部品類）の情報提供検討  
◎カタログの作成審議  
◎組合員脱退承認（竹村総合設備）（宮本製作所）  
◎宮本副理事長辞任、村田副理事長選出
2. 22 第7回理事会（13名）  
◎委員会報告  
◎昭和57年度決算見込み報告
3. 25 第8回理事会（13名）  
◎第23回通常総会日程決定  
◎第23回通常総会提出議案審議  
◎組合員持分（宮本製作所）継承加入承認（三和厨房）

- 58.4.18 正副理事長会◎理事会開催準備
- 4.22 第1回理事会（14名）  
◎第23回通常総会提出議題審議
- 5.12 河内事務局長逝去
- 5.23 正副理事長会◎理事会開催準備
- 5.27 第23回通常総会（箱根奥湯本）  
◎法定の通常総会の決議事項決議  
◎役員改選／村田理事長 細山・鈴木・徳増各副理事長他を選出◇出席73名
- 6.14 正副理事長会◎理事会開催準備
- 6.21 第2回理事会（21名）  
◎昭和58年度事業計画に伴う各委員会構成決定  
◎全国中小企業団体中央会主催中小企業優秀従業員海外派遣事業に参加を決定  
◎共同購入事業の推進について審議
- 7.17 共同購入委員会  
◎昭和58年度委員会方針決定  
◎取扱商品の追加決定  
◎与信限度額の見直し審議
- 7.22 共同受注委員会  
◎配分状況と今後の運営審議  
◎受注規定・規約と実務上の問題点審議
- 7.25 技術開発委員会  
◎過去の実績の確認と今後の活動方針審議
- 7.26 生産委員会  
◎昭和58年度活動基本方針審議
- 7.27 正副理事長会  
◎理事会開催準備
- 8.3 第3回理事会（14名）◎各委員会報告  
◎東京都中小企業団体中央会組合功労者表彰推薦者決定  
◎昭和58年度第1・四半期財政報告  
◎第一勧業銀行虎ノ門支店より借入及び商業手形割引の実行について承認  
◎賛助会員の加入承認（ラックランド工業）  
◎新事務局長の就任承認（横山事務局長）
- 8.10 政策指導委員会  
◎共同購入与信限度額の審議
- 9.6 政策指導委員会  
◎共同購入基本契約制定審議  
◎組合主導型展示会の開催について審議
- 9.12 第4回理事会（18名）  
◎政策指導委員会報告  
◎昭和58年度転貸要領承認他
- 10.26 政策指導委員会  
◎展示会に関する意向調査結果集計審議
- 10.26 第5回理事会（16名）  
◎臨時総会提出議案審議  
◎展示会に関する意向調査結果報告他
- 11.9 臨時総会（東京如水会館）  
◎昭和58年度財政状況中間報告  
◎共同購入基本契約制定  
◎組合員企業優良従業員表彰  
◇出席78名
- 11.29 技術開発委員会・生産委員会（合同）  
◎組合主導展示会の協力体制審議  
◎技術講習会報告及び今後の開催方針審議  
◎機器接続講習会の開催要領審議
- 12.7 第6回理事会（14名）  
◎委員会報告  
◎展示会専門委員会構成決定  
◎脱退組合員の承認（サンウエーウ機材）
- 59.1.13 新年賀詞交換会（東京郵便貯金会館）
- 2.9 技術開発委員会  
◎昭和59年度活動方針審議
- 2.10 共同購入委員会  
◎製氷機の掛率改訂審議  
◎星崎製品の共同購入化審議
- 2.22 正副理事長会  
◎昭和58年度決算処理及び59年度財務関係計画方針審議
- 2.27 第7回理事会（12名）  
◎日本厨房企業名鑑の改訂審議  
◎組合員脱退承認（エバホット）
- 3.23 第8回理事会（11名）  
◎第24回通常総会提出議案審議

昭和**59**年度 (昭和59年4月～60年3月)

昭和60年3月31日現在  
組合員数 86社 出資金3,540万円

- 59.4.16 梅田理事(元副理事長)逝去
- 4.27 第1回理事会(18名)  
◎第24回通常総会提出議案審議  
◎組合員脱退承認(北川製作所)
- 5.23 第24回通常総会(東京如水会館)  
◎法定の通常総会決議事項を決議  
◇出席68名
- 6.27 第2回理事会(16名)  
◎組合員持分(日本調理機商事)継承加入承認  
(日調メンテナンス)  
◎組合員加入承認(大進金属)
- 7.2 第3回理事会(13名)  
◎委員会報告
- 7.19 技術委員会  
◎正副委員長選任  
◎今後の活動方針決定
- 7.24 共同購入委員会  
◎取扱商品の追加承認  
◎パロマ製品共同購入実施審議
- 7.25 共同受注委員会  
◎事務局より受注状況報告  
◎保守管理方法の審議
- 7.27 政策指導委員会  
◎組合員の新規加入の促進を審議
- 10.16 第4回理事会(11名)  
◎臨時総会提出議案審議  
◎昭和59年度転貸実施要領承認  
◎組合員の倒産報告(ダイワ工業)
- 11.6 共同受注委員会  
◎東京ガス(株)麻布研修所厨房設備工事担当  
組合員選定  
◎東京ガス(株)江戸川営業所厨房設備工事担当  
組合員選定
- 11.13 臨時総会(東京郵便貯金会館)  
◎昭和59年度財政状況中間報告  
◎組合員企業優良従業員表彰  
◇出席67名(78%、委任状29)
- 60.1.18 新年賀詞交換会(東京郵便貯金会館)
- 3.7 共同購入委員会  
◎組合商品「蒸し器」の製造中止の申し出に  
ついて審議
- 3.5 岩崎元理事逝去
- 3.20 第5回理事会(13名)  
◎通常総会の日程決定  
◎組合員脱退承認(東郷厨房)  
◎委員会報告



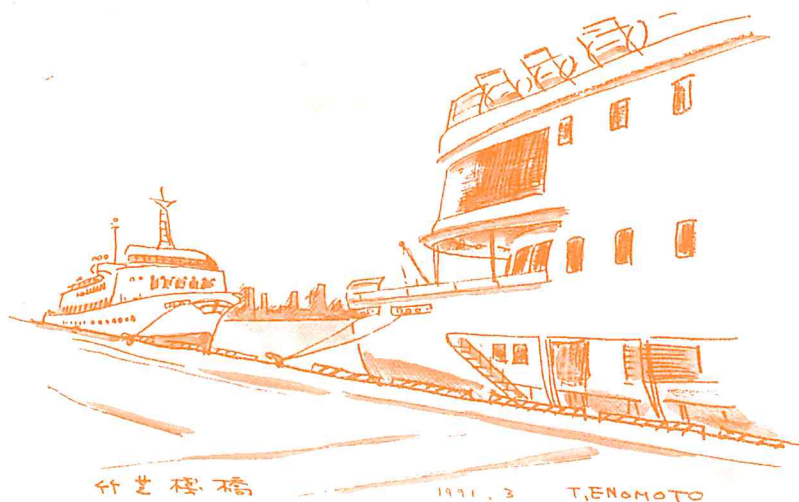


昭和60年度（昭和60年4月～61年3月）

昭和61年3月31日現在  
組合員数 86社 出資金3,560万円

- 60.5.22 第25回通常総会（東京郵便貯金会館）  
◎法定の通常総会決議事項を決議  
◎役員改選／村田理事長 細山・鈴木・徳増  
各副理事長他を選出  
◇出席65名
- 6.17 第1回理事会（15名）  
◎事業計画実施に伴う各委員会の構成審議
- 9.20 共同購入委員会  
◎組合商品「蒸し器」の取扱審議
- 9.26 第2回理事会（15名）  
◎組合商品「蒸し器」の取扱審議  
◎東京ガス(株)創立100周年記念展示会出店  
協力について審議
- 10.29 第3回理事会（10名）  
◎臨時総会提出議題審議

- 11.12 臨時総会（東京郵便貯金会館）  
◎昭和60年度財政状況中間報告  
◎組合員企業優良従業員表彰  
◇出席66名
- 12.5 共同受注委員会  
◎東京ガス北部導管管理事業所厨房設備工事  
担当組合員選定
- 12.24 技術委員会  
◎研修会見学会の日程を策定
- 61.1.17 新年賀詞交換会（東京郵便貯金会館）
- 2.14 村田理事長逝去
- 2.26 共同購入委員会  
◎共同購入取扱実績について審議等  
◎共同購入取扱品目以外取扱審議
- 3.7 政策指導委員会  
◎組合定款改訂原案審議
- 3.7 第4回理事会（14名）  
◎組合定款改訂を委員会に付託することを決議  
◎村田理事長死去に伴い、鈴木理事長、  
深沢副理事長選出



昭和**61**年度(昭和61年4月～62年3月)

昭和62年3月31日現在  
組合員数 86社 出資金3,520万円

- 61.4.18 第1回理事会(12名)
  - ◎第26回通常総会提出議案他審議
  - ◎組合員倒産報告(永富)
- 5.8 第26回通常総会(箱根奥湯本)
  - ◎法定の通常総会決議事項を決議
  - ◎定款変更を決議
  - ◇出席65名
- 7.8 徳増副理事長逝去
- 7.11 第2回理事会(16名)
  - ◎組合員加入(共和厨房)  
脱退(飯塚鉄工所)承認
  - ◎東京都中小企業団体中央会組合功労者  
表彰推薦審議
- 10.3 第4回理事会(14名)
  - ◎臨時総会提出議題審議他
- 10.11 臨時総会(東京郵便貯金会館)
  - ◎昭和61年度財政状況中間報告
  - ◎組合員企業従業員表彰
  - ◇出席63名
- 62.1.16 新年賀詞交換会(東京郵便貯金会館)
- 2.12 共同購入委員会
  - ◎最近の取扱状況検討
- 3.11 第5回理事会(13名)
  - ◎昭和61年度決算見込み審議



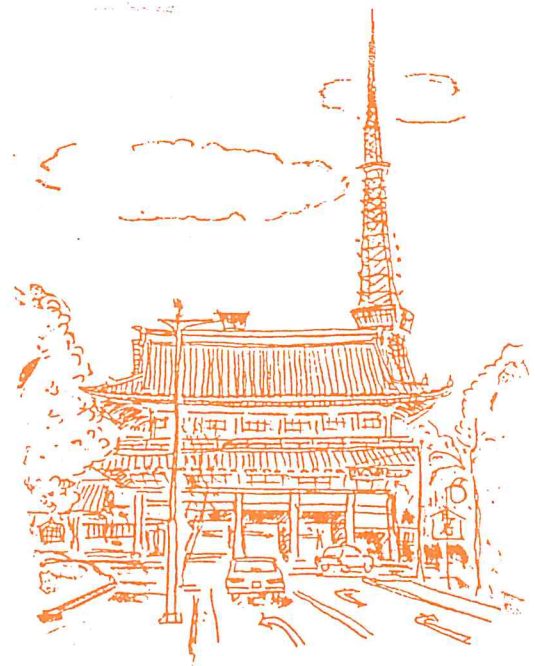
- 62.4.28 第1回理事会（15名）  
◎第27回通常総会提出議題審議
- 5.21 第27回通常総会（箱根奥湯本）  
◎法定の通常総会決議事項を決議  
◎官公需適格組合共同受注規約改訂他を承認  
◎役員改選／鈴木理事長 細山・深沢・尾崎  
各副理事長他を選出  
◇出席65名
- 7.9 第2回理事会（14名）  
◎昭和62年度事業計画実施に伴う各委員会の  
構成他を審議
- 7.30 共同購入委員会  
◎最近の取扱状況にもとづき運営方針の審議
- 9.11 共同購入委員会  
◎仕切率の検討
- 9.22 第3回理事会（14名）  
◎賛助会員の加入承認（アデカクリーンエイド）  
◎各委員会構成の承認  
◎東京都中小企業団体中央会組合功労者表彰  
の推薦審議
- 10.19 政策指導委員会  
◎臨時総会の運営について審議
- 11.6 第4回理事会（11名）  
◎臨時総会提出議案審議  
◎組合員加入承認（ニチワ電機）
- 11.19 臨時総会（東京郵便貯金会館）  
◎昭和62年度財政状況中間報告  
◎組合員企業優良従業員表彰  
◇出席70名
- 63.1.13 共同受注委員会  
◎共同受注工事担当組合員選定
- 1.18 新年賀詞交換会（東京郵便貯金会館）
- 3.4 第5回理事会（14名）  
◎昭和62年度決算見込みについて審議  
◎韓国金属工業協同組合より交流申し出について  
審議
- 3.4 共同購入委員会  
◎取扱商品の追加審議
- 3.28 政策指導委員会  
◎組合加入金について審議



昭和**63**年度 (昭和63年4月～平成1年3月)

平成1年3月31日現在  
組合員数 87社 出資金3,440万円

- 63.4.28 第1回理事会 (15名)  
◎第28回通常総会提出議題審議
- 5.12 第28回通常総会 (箱根奥湯本)  
◎法定の通常総会決議事項を決議  
◇出席75名
- 7.7 政策指導委員会  
◎組合加入金について審議
- 7.29 共同購入委員会  
◎最近の取扱状況審議
- 9.6 政策指導委員会  
◎組合加入金について審議  
◎韓国金属工業協同組合訪日対策他審議
- 9.6 第2回理事会 (15名)  
◎組合加入金について審議  
◎韓国金属工業協同組合訪日対策他審議
- 10.18～19 韓国金属工業協同組合来日  
懇談・厨房・工場見学
- 10.27 政策指導委員会  
◎組合加入金について審議
- 10.27 第3回理事会 (11名)  
◎組合加入金について審議  
◎臨時総会提出議案他審議
- 11.9 臨時総会 (東京郵便貯金会館)  
◎昭和63年度財政状況中間報告  
◎組合員企業優良従業員表彰  
◇出席50名
- 1.1.18 新年賀詞交換会 (東京鉄道会館ルビーホール)
- 2.3 第4回理事会 (13名)  
◎消費税施行に伴う組合の対処方針審議  
◎組合員加入 (共栄サービス、日本キッチン)  
脱退 (鷹製作所) 承認  
◎組合員持分 (カジワラエンタープライズ)  
継承加入 (カジワラキッチンサプライ) 承認
- 2.23 臨時総会 (東京鉄道会館)  
◎消費税の転嫁と表示に係わる共同行為実施の  
ための定款変更承認  
◇出席60名



芝増上寺 二解殿内 (1605年建立)  
1991.4. T. ENOMOTO

平成 1 年度 (平成 1 年 4 月～ 2 年 3 月)

平成 2 年 3 月 31 日現在  
組合員数 87 社 出資金 3,440 万円

- 1.4.5～9 韓国厨房業界視察
4. 28 第 1 回理事会 (15 名)  
◎第 29 回通常総会提出議案他審議
5. 11 第 29 回通常総会 (箱根奥湯本)  
◎組合員の持分配分の再検討を承認  
◎役員改選/鈴木理事長 細山・深沢・尾崎  
各副理事長他を選定  
◎法定の通常総会決議事項を決議  
◇出席 64 名
6. 19 第 2 回理事会 (17 名)  
◎各委員会構成承認  
◎東京都中小企業団体中央会組合功労表彰者  
推薦
7. 12 共同受注委員会  
◎東京ガス神田営業所及び埼玉支社厨房設備  
工事担当組合員選定  
◎共同受注の参加組合員の見直し審議
8. 8 共同購入委員会  
◎取扱商品の仕切率及び価格変更審議
8. 22 共同受注委員会  
◎東京ガス幕張システムビルの厨房設備工事  
について審議
10. 6 共同受注委員会  
◎東京ガス多摩東営業所厨房設備工事の  
担当組合員選定  
◎共同受注事業運営上の問題点と今後の  
運営方針審議
10. 24 第 3 回理事会 (15 名)  
◎臨時総会提出議案他審議
11. 15 臨時総会 (東京郵便貯金会館)  
◎平成 1 年度財政状況中間報告  
◎組合員企業優良従業員表彰他  
◇出席 63 名
2. 1. 16 共同受注委員会  
◎東京ガス山之内西新宿ビル厨房設備工事  
について審議
1. 17 新年賀詞交換会 (芝パークホテル)
2. 16 第 4 回理事会 (14 名)  
◎組合解散時における持分配分についての  
規約原案審議  
◎組合創立 30 周年記念事業計画審議  
・記念行事実行委員会設立承認  
・厨房図面集編集委員会設立承認  
・記念誌編集委員会設立承認  
◎厨房機器会館空調設備改修承認

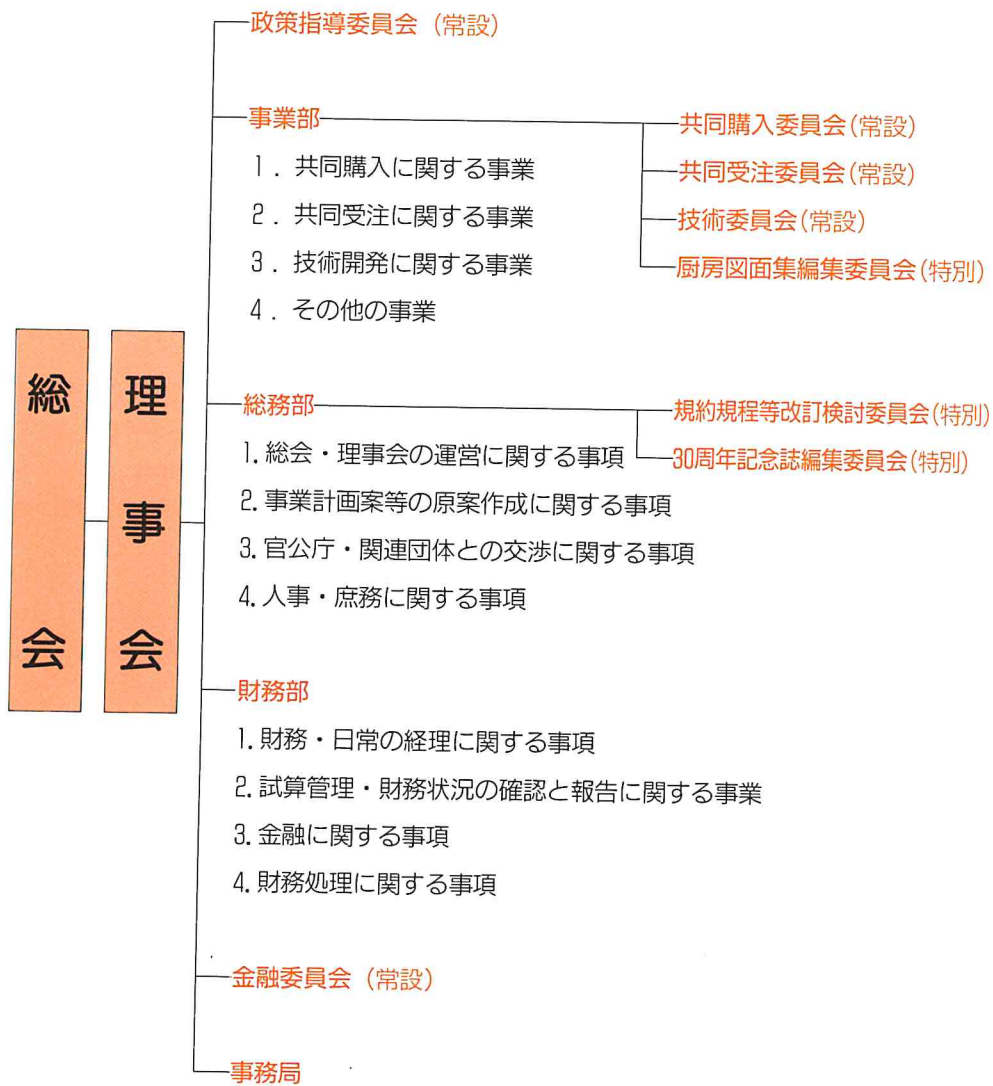


平成 **2** 年度 (平成2年4月～3年3月)

平成3年3月31日現在  
組合員数 86社 出資金3,460万円

- 2.4.19 第1回理事会 (13名)
  - ◎第30回通常総会提出議題審議
  - ◎組合解散時における持分の配分についての規約原案審議
  - ◎組合創立30周年記念行事実行委員会委員選任承認
  - ◎規約改訂委員会委員選任承認
- 5.17 第30回通常総会 (箱根奥湯本)
  - ◎法定の通常総会決議事項を決議
  - ◎組合解散時における持分の配分についての規約承認
  - ◇出席69名
- 6.21 創立30周年記念行事実行委員会
  - ◎記念式典実施計画審議
- 7.9 鈴木相談役逝去
- 7.30 創立30周年記念行事実行委員会
  - ◎記念式典実施内容審議
- 9.3 創立30周年記念厨房図面集編集委員会
  - ◎編集の主旨説明
  - ◎基本計画自由討議
- 9.6 共同購入委員会
  - ◎取扱商品の一部価格改訂の申出審議
  - ◎取扱商品のアンケート調査実施審議
- 9.6 第2回理事会 (15名)
  - ◎組合員の加入 (日本電子機器) 脱退 (八洲電機) 承認
  - ◎各委員会報告
- 9.19 創立30周年記念厨房図面集編集委員会
  - ◎編集計画検討
  - ◎外食産業業態別分類検討
- 10.26 創立30周年記念式典 (東京椿山荘)
- 11.26 共同購入委員会
  - ◎取扱商品の追加申し出審議
  - ◎取扱商品のアンケート調査結果検討
- 11.26 第3回理事会 (15名)
  - ◎組合員の脱退承認 (トキワ工業)
  - ◎各委員会報告
- 3.1.17 新年賀詞交換会 (芝パークホテル)
- 1.28 共同購入委員会
  - ◎取扱商品の価格改訂について
- 2.5 創立30周年記念厨房図面集編集委員会
  - ◎概算予算策定
  - ◎収集図面の選定
- 2.7 規約規定等改訂検討委員会
  - ◎現行の規約規定の改訂検討
- 2.21 共同受注委員会
  - ◎規約の改訂審議
  - ◎参加組合員の見直し検討
- 3.19 30年誌編集委員会
  - ◎編集方針 (頁建て他) 決定
  - ◎予算ならびに印刷業者決定
- 3.19 第3回理事会 (16名)
  - ◎組合員脱退承認 (北英熱器)
  - ◎平成2年度決算見込み報告
  - ◎各委員会報告
- 3.26 創立30周年記念厨房図面集編集委員会
  - ◎収集図面の監修委託先決定
  - ◎予算ならびに印刷業者決定

# 組合の組織機構



# 組合設立当時のこと

小越 栄治郎

——お元氣そうですね。失礼ですがおいくつになられましたか。

80歳になりました。歳から言ったらそんなに呆けるはずもないんだけど、眼とか耳にきますよ。眼は大分見えなくなったが、歩くにはそんなに不自由しない。向こうから人の来るのはわかるんだけど、すれちがって挨拶し合ってたって誰だかわからないことがある。

それに足が弱くなった。足には自信があったんだがね。この頃は、ここ（会館）から駅まで歩くと疲れが来ますよ。

——組合が出来て今年で30年になります。昔のお話をうかがえる方々も少なくなってきました。

私は創業よりも少し後の参加です。それでもいま残っている役員さんは熊谷さん、上野さん、それと椿さんぐらいですか。

——当時、組合の事務局はどこにあったのですか。

木村さんの所ではなかったかな。役員会をする場所がなくね、浜松町の駅から大門の方に行って広い通りを越えて右側の精養軒の2階を借りてやっていましたね。

組合員の数も少なかったから、会館を建てる時は大変だった。でもね順調にいったんですよ。当時木村さんは「2年経てば借金は返せるから、金（賦課金）はもらわなくても家賃だけで組合の費用はまかなえる」と言っていた。木村さんの頃はそれほど組合の活動が大きくなかったので大丈夫と考えられたのでしょうね。事務局員は全部で3人ぐらいだったかな。その後組合も大きくなって7～8人になった。

——その間に、小越さんの会社も同様に大きくなった。

いや私はなまじっか職人だものだから、一から十まで全部自分でやらなければ気が済まないから、大きくはなれなかった。一部は自分がやって、あとは材料支給で外注にやらせる手もあったけれどね。

そのあと、工業会を作った。当時物品税の問題が出てきて組合で陳情書を出したって効き目がないので、工業会をつくろうということになって、大阪や名古屋に声を掛けて社団法人を作った。だから組合はいまの工業会の仕事を大分やってたんじゃないかな。厨房の業者の名簿（現在の日本業務用厨房名鑑）ね、いまは工業会でやっているけど、あれも最初は組合がやって、大変手間の掛かる仕事だった。

出来立ての頃の工業会の予算が年で800万円ぐらいだったかな。通産省の担当の役員が「自分の年間の給料と大差がない、これで何をやるんですか」と言っていたのをおぼえているよ。でもよく面倒を見てくれて、具合の悪いところを直して今日まで来た。

——組合も当時から比べれば様子が変わりましたね。

昔からの厨房屋さんじゃなくて、他の仕事をやりながら厨房の仕事に入ってくる人もいて、だんだん新しい人が増えているからね。しっかりやってください。



# 「挿絵」にちなんで（港区散歩）

港区の名所を、ぶらりと散策しながらスケッチ。普段、せわしいこの地もなかなか味わいがある。散策コースを「港区名所巡りマップ」として描いてみた。

株式会社オリオン取締役会長

榎本 常治

関厨協30周年の記念誌が発刊されるとのこと。まことにおめでたいことである。先の20周年の記念誌には、組合創業時に功労のあった方々の、当時の苦労話が掲載されていたが、それら多くの先覚者は今はいない。時の流れを深く感じる。事務局より私にも誌面になにか「カット」を、との依頼があり、1日港区の一部を散策してみることもなった。

普段は目的地に向かって急わしく歩いているところでも、ぶらりと時間をかけて見てまわるとなかなか味のある風景に接することができる。旅に出る時の浜松町駅構内は忙しく階段を上り下りして通り過ぎるのであるが、近頃は国際空港の玄関口としてなかなか立派になった。竹芝棧橋口へ出て右へ行くと彩りのよい敷石の歩道があるのだが、右側に旧芝離宮思賜庭園がある。離島会館を過ぎると、突き当りの竹芝船客待合所（P22）が目下改装中であつた。岸壁にでると見えるほど立派になって中型船が二隻繋留されていた。後方には東海汽船のマークを船主に3000t位船と前にはレストランシップ・ヴァンテン号の潇洒な船であつた。タラップを上ってシップガールに船内の見学を申し入れたらOKとのこと、一巡することができた。ちなみにこの船はランチタイムクルーズ、デイトタイムクルーズ（夏期のみ）、デイナータイムクルーズの3種で、喫茶食事を楽しみながら羽田沖をクルーズするという。次の機会に利用してみよう。

引き返してほとんど5分間隔位で行き交う新幹線のガードをくぐり国道1号を渡ると、あの木造？朱塗りの門がある。車の通行を許している大門である（P23）。増上寺の一つの門と言うところか。この道の右手奥には歌舞伎狂言で有名な「め組の喧嘩」の舞台になった芝大神宮がある。

日比谷通りの向こう側に増上寺の山門がある（P25）。増上寺は、徳川寺の菩提寺と定められてから繁栄を見た浄土宗の大本山で、明徳4年（1393年）に創建され、国の重要文化財の指定を受けている。三解脱門・黒門・経蔵・書院・鐘楼などがある（P25）。三解脱門は間口19m、高さ21mの壮大なもので禪宗式山門というのだそうだ。入って右手の鐘楼には高さ3m、重さ15tの東日本一の梵鐘がある。立て替えられた本堂は広い境内を圧する壮大なもので誰でも中に入って参拝することができる。右手には葬儀殿があり、寺の大きな収入源となっているのであろう。この日も大きな葬儀が行なわれていた。背景には東京タワーが近くに聳えて見える。東京名所の景観の一つであらう。

山門を出て右へ古びた土塀に沿って東照宮の鳥居の前に出る。徳川三代将軍家光手植えの大イチョウの御神木がある。幹の周りが10mと書いてあつた。進んで神殿を見ると、一応日光の東照宮づくりとなっているものの、隣りの増上寺とは比較にならないほどさびれたもので、参道と宅地との境界もなく、神社の収入源の少ない現代の世相がうかがえる。

赤羽橋の方向に歩を進めると芝公園の森がある（P24）。道路に沿って小川の流れが石造りで整備されており、東京のど真ん中にもこんな憩いの場所があつたのかと思われる自然がある。赤羽橋のたもとの大看板に「悲願赤羽橋駅実現決定さる（P16）。地下鉄12号線建設、71年度全線開通」と書いてある。関厨協40周年記念の時には、大変便利な所で新しい時代の人々の手で盛大な祝賀の行事が行なわれるであろうことを願って終りとします。

（本文中の挿し絵はすべて榎本氏の作品です）

# 関東厨房機器協同組合30年の記録

## 組合員会社一覧 (加入順、ゴシック体は現組合員)

平成3年3月31日現在

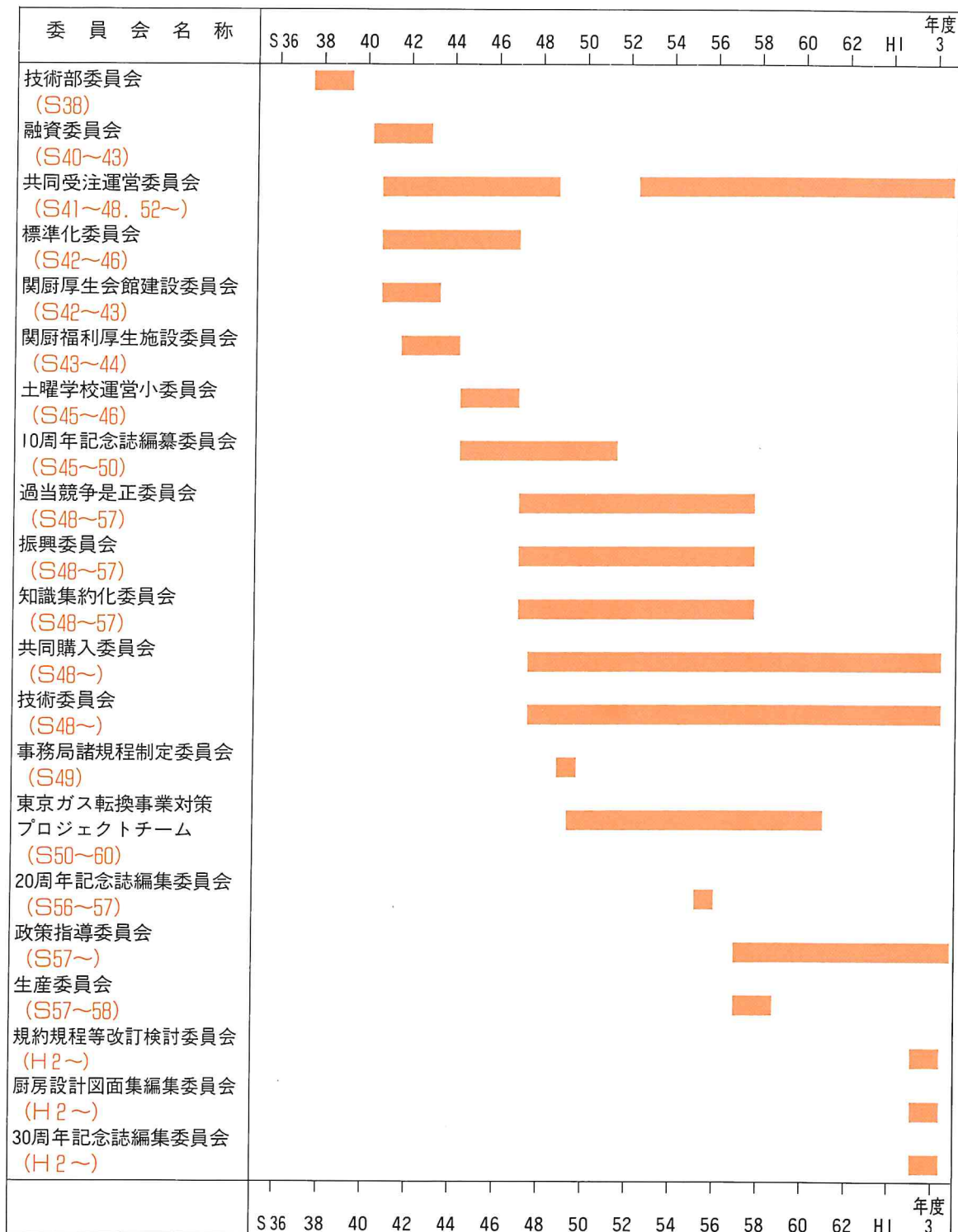
秋元調理機器株式会社	三ツ星厨房器具株式会社	曉厨機株式会社
イカリ工業株式会社	リンナイ株式会社	東洋設備工業株式会社
株式会社伊藤厨房	株式会社内山製作所	ミヤコ厨房株式会社
株式会社上野製作所	株式会社東京三冷社	新日本厨機株式会社
才ザキ株式会社	日本調理機商事株式会社	愛豊鉄工株式会社
株式会社木村製作所	株式会社内田製作所	平井商事株式会社
有限会社佐藤鉄工所	株式会社北川製作所	東京特殊鋼材株式会社
三陽工業有限会社	株式会社遠山製作所	株式会社中西製作所
株式会社鈴木商行	日本ステンレス工業株式会社	株式会社服部製作所
竹村総合設備株式会社	株式会社加藤製作所	大伸工業株式会社
第一厨房工業株式会社	株式会社横山製作所	帯金設備工業株式会社
千代田設備工業株式会社	株式会社北山製作所	エレクトー株式会社※
株式会社椿厨房具製作所	トキワ工業株式会社	服部工業株式会社
東郷厨房機器株式会社	小川製作所	ホシザキ東京株式会社※
株式会社東泉製作所	日建設備株式会社	有限会社中村鑄工所
株式会社徳久製作所	熊野商事株式会社	日本洗淨機株式会社
有限会社中村製作所	巽瓦斯器具工業株式会社	株式会社桂精機製作所
永富機械工業株式会社	二葉工業株式会社	有限会社植野製作所
日本調理機株式会社	株式会社松島製作所	有限会社藤村製作所
ヨート一株株式会社	井上金属株式会社	株式会社コメットカトウ
林田商事株式会社	東京管材株式会社	株式会社佐藤鉄工所
林工業株式会社	株式会社長岡製作所	有限会社敬和工業
株式会社福本製作所	株式会社中	墨水交易株式会社
株式会社フジマック※	クレヴァ電機工業株式会社	株式会社クレヴァ厨設
細山熱器株式会社	桐山工業株式会社	株式会社フジマックサービス※
株式会社松崎製作所	株式会社五加調理器	サンウェーブ機材株式会社
株式会社宮本製作所	東京設備株式会社	富士エンゼル株式会社
村幸ステンレス工業株式会社	大和ステンレス鋼業株式会社	星電商事株式会社
株式会社森井厨機製作所	ダイワ工業株式会社	イトヤ株式会社
八洲電機株式会社	株式会社飯塚鉄工所	株式会社カジワラエンタープライズ
吉村厨房工業株式会社	クマノ厨房工業株式会社	クレヴァサービス株式会社
ワシオ厨理工業株式会社	菊地厨機株式会社	株式会社鷹製作所
高砂厨房工業株式会社	株式会社東栄厨房	シーエム工業株式会社※
アサヒ厨機販売株式会社	株式会社イースタン商會	有限会社フジガス工業
株式会社小林製作所	谷口工業株式会社	三和厨器株式会社
有限会社小越製作所	株式会社ユニフロー※	日調メンテナンス株式会社
株式会社萩原製作所	株式会社オリオン※	大進金属工業株式会社
エパホット工業株式会社	清和厨房株式会社	共和厨房設備株式会社
有限会社昭和調理器製作所	アフターサービス設備工業株式会社	ニチワ電機株式会社
株式会社戸井田製作所	三和工業株式会社	株式会社カジワラキッチンサプライ
北英熱器株式会社	長堀車輛製造株式会社	日本キッチン工業株式会社
株式会社松下製作所	日産設備工業株式会社	有限会社共栄サービス
浜親鑄造株式会社	株式会社三栄コーポレーションリミテッド※	日本電子機器株式会社

会社名末尾に※印のある会社は昭和57年4月以降名称に変更のあった会社です



氏名	S36	38	40	42	44	46	48	50	52	54	56	58	60	62	HI	3年度
松崎 貴永							○	○	○	○						
小林 一男							○	○	○	○						(昭和54年11月脱)
永井 富造							○	○	○	○	○	○	○	○	○	(昭和61年4月脱)
鈴木 紘正							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長宗 新作							○	○				■	■	■	■	■
飯塚 政雄							○	○	○	○	■	■	■	■		(昭和61年7月脱)
榎本 常治							○	○	○	○	○	○	○	○	○	
金田 満須治							○	○	○							(昭和58年2月脱)
深沢 信生							○	○	○	○	○	○	○	○	○	
河内 泰治																(昭和58年5月没)
鈴木 啓之																(平成2年7月没)
出川 義則																(昭和60年9月転)
内山 義一郎																
丹羽 正男							■	■	■	■	○	○	○	○	○	
二階堂 博史																
采沢 賢一											■	■	○	○	○	
谷口 光男																
浜田 藤松																
村田 芳郎																(昭和60年12月没)
大西 晴満																
佐藤 堯																
梶原 徳二																
中里 貞治																
富士田 靖明																
矢野 徹																
熊谷 俊範																
村田 精一																
柳屋 隆																
横山 太助																
小越 万栄																
桐山 券二																
中川 公明																
桧垣 敏也																

## 各委員会変遷(設立順)



## 各委員会委員就任状況一覧表（昭和56/4～平成3/3 設立または解散したもの）

ゴジックは委員長

## ・技術委員会（昭和48年2月設立）

荒木 唯光	阿部 翰	荒井 武司	生島 四郎	采沢 賢一	尾崎 和夫	勝村 三男
川名 克巳	川村 国平	風間 政夫	小山 義治	島田 阿二	新川 善雄	高木 貞安
出川 義則	永井 富造	中村 禎夫	中村 進	野本 新輔	松垣 敏也	古川 芳昭
藤井 節三	細山喜三郎	宮本 一雄	三ツ沢義治	三沢金一郎	村田 義郎	村田 精一
山本 和夫						

## ・共同購入委員会（昭和48年設立）

稲垣 光清	上野 一雄	鱗 清	宇佐美祐繁	江口 次男	榎本 常治	小越 万栄
大木 伯雄	恩沢 應公	小林 一男	後藤 博	柴田 三雄	谷口 光男	徳増 久治
出川 義則	丹羽 正男	西山 宏	橋場藤次郎	馬場 将二	平野 篤	深沢 信生
富士田靖明	松崎 貴永	宮本 一雄	村田 幸一	矢野 徹		

## ・共同受注委員会（昭和41年設立・48年解散・52年再設）

荒木 唯光	生島 四郎	岩倉 好松	伊藤 健一	伊藤 一郎	梅田 勝徳	江口 次男
鬼沢 礼佑	小越 万栄	北川慶太郎	熊谷 俊男	桑野 昭治	小林 一男	後藤 博
薦田 一馬	鈴木 紘正	鈴木 雅之	高木 貞安	塚田 忠男	樫 良輔	出川 義則
徳増 久治	中里 貞治	二階堂博史	丹羽 正男	野本 新輔	馬場鋭之助	松垣 敏也
深沢 信生	細山 礼吉	宮本 一雄	村田 幸一	村田 芳郎	村田 良介	吉村 謙三

## ・政策指導委員会（昭和57年設立）

岩崎 実	飯塚 政雄	梅田 勝徳	上野 一雄	内山義一郎	榎本 常治	江口 次男
尾崎 和夫	大西 晴満	小越栄治郎	梶尾 徳二	熊谷 俊男	佐藤 宏仁	鈴木 紘正
丹羽 正男	深沢 信生	富士田靖明	細山喜三郎	村田 精一		

## ・過当競争是正委員会（昭和48年設立 57年解散）

秋元 俊三	伊藤 健一	梅田 勝徳	北川慶太郎	小林 一男	薦田 一馬	坂下 欣吾
沢村 栄一	鈴木 紘正	谷口 光男	樫 良輔	出川 義則	富永 増	中里 功
長宗 新作	二階堂博史	原田 清	松山多四郎	平本 庫次	深沢 信生	村田 幸一
村田 芳郎						

## ・振興委員会（昭和48年設立 57年解散）

井上 次郎	岩崎 実	飯塚 政雄	梅田 勝徳	内山義一郎	小越栄治郎	後藤 博
谷山 明	永井 富造	橋場藤次郎				

## ・知識集約化委員会（昭和48年設立 57年解散）

秋元 興一	上野 一雄	江口 次男	榎本 常治	尾崎 和夫	佐藤 宏仁	徳増 久治
松永 貴永	細山喜三郎					

## ・生産委員会（昭和57年設立 59年解散）

荒井 武司	采沢 賢一	尾崎 和夫	風間 政夫	出川 義則	中村 進	永井 富造
丹羽 正男	浜田 藤松					

## （特別委員会）

## ・規約規程等改訂検討委員会（平成2年設立）

尾崎 和夫	佐藤 宏仁	中川 公明
-------	-------	-------

## ・厨房図面集編集委員会（平成2年設立）

榎本 俊夫	今野 孝雄	鈴木 廣義	鈴木 尚記	原田 美正	深沢 信生	藤村 成人
谷田具麻吉						

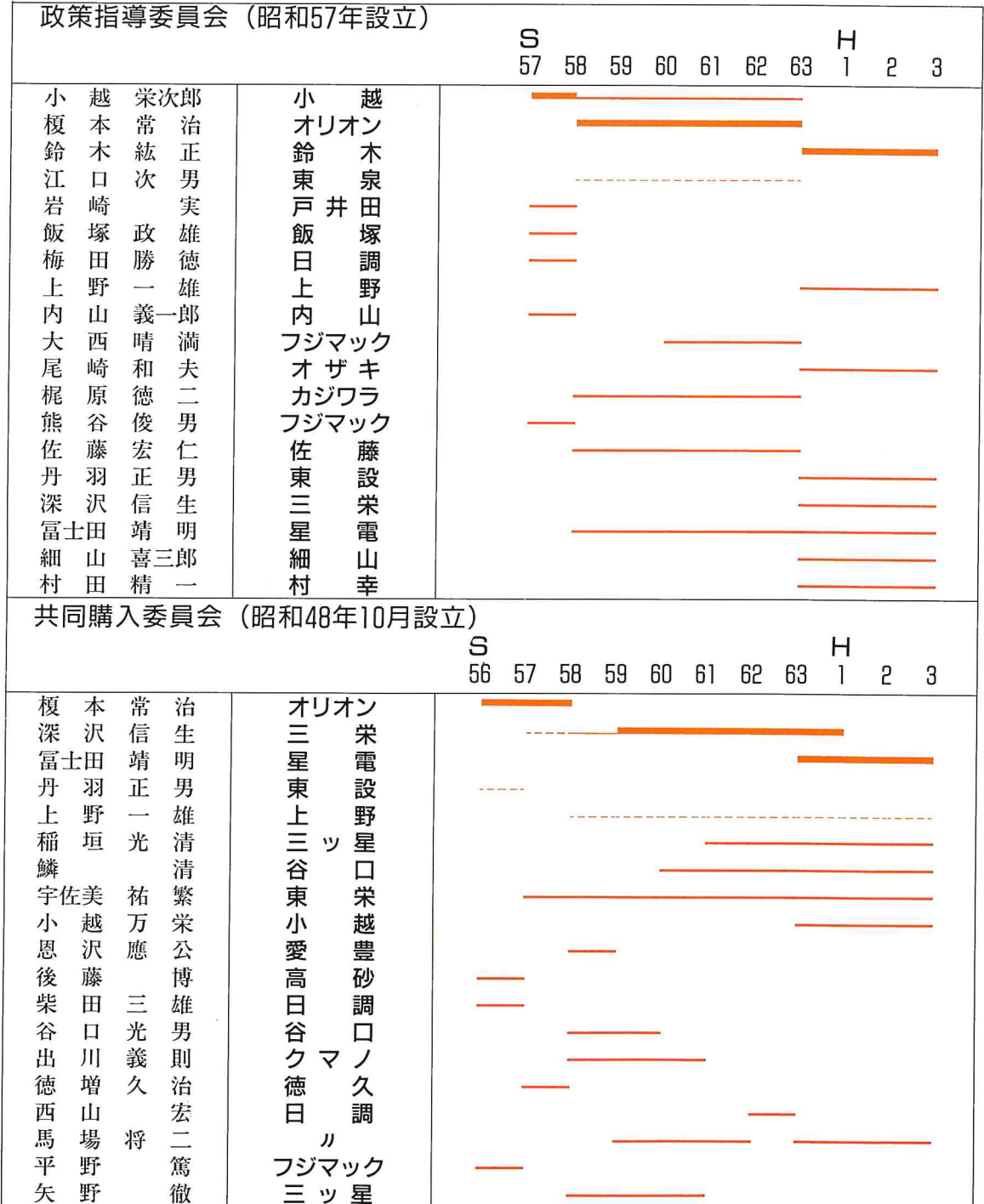
## ・30周年史編集委員会（平成2年設立）

上野 一雄	深沢 信生	細山喜三郎
-------	-------	-------

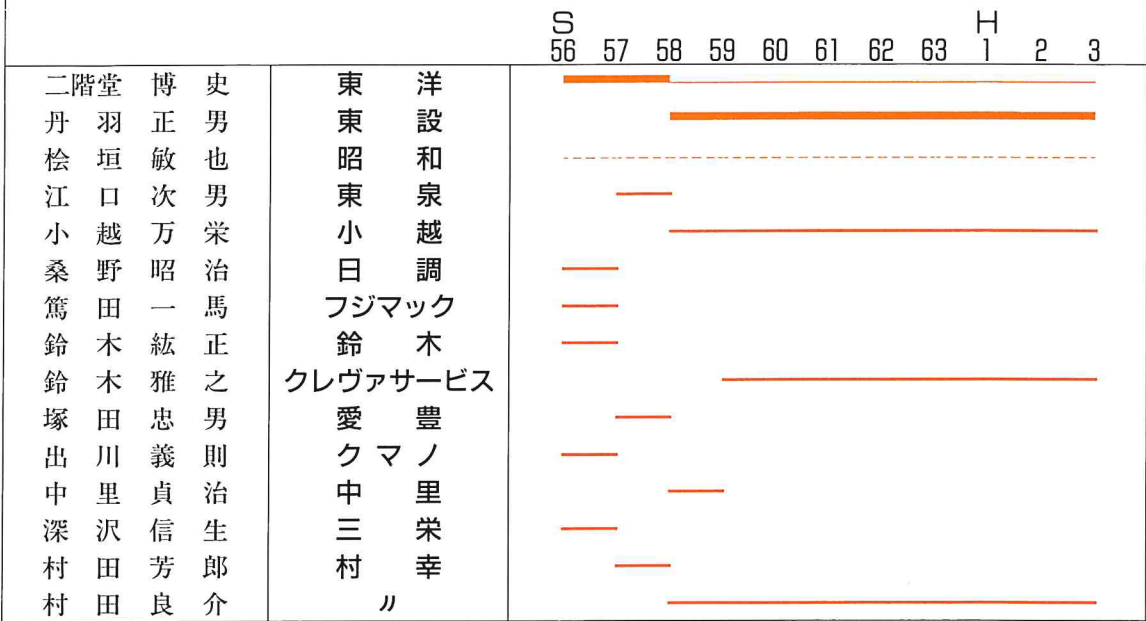
# 現存常設委員会委員就任状況

(平成3年3月31日現在)

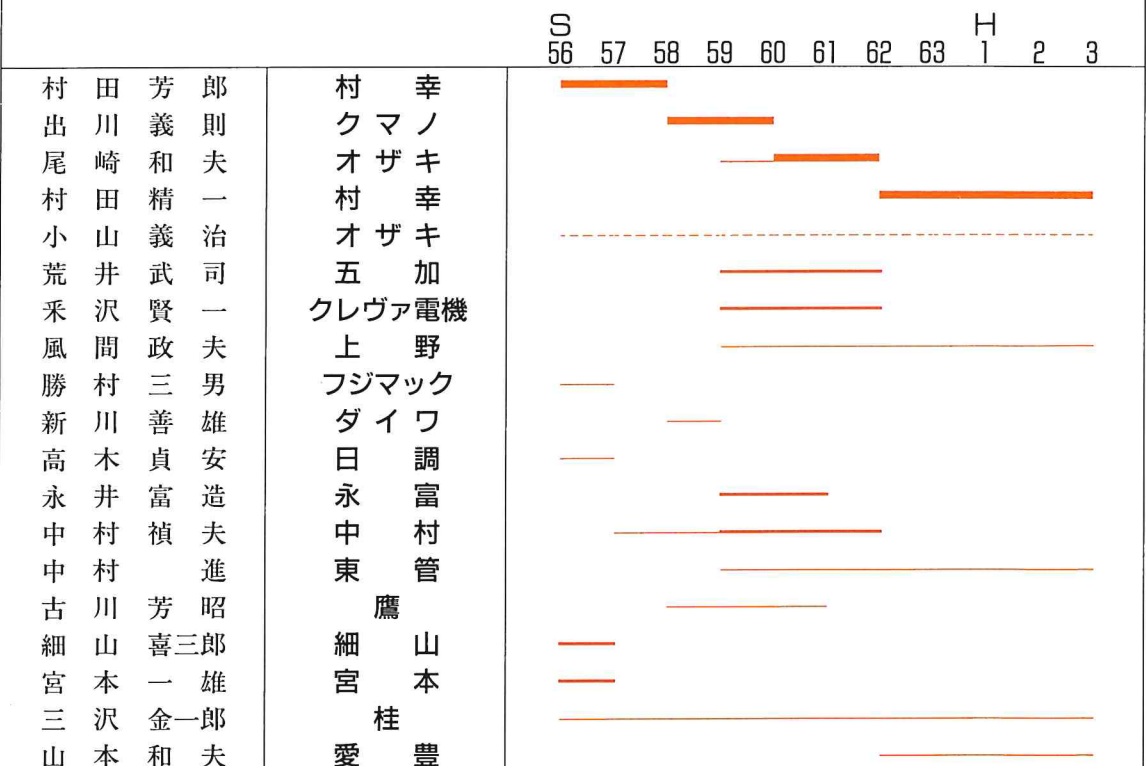
— 委員長    ..... 副委員長    — 委員



共同受注委員 (昭和41年設立・48年解散・52年5年月再設)

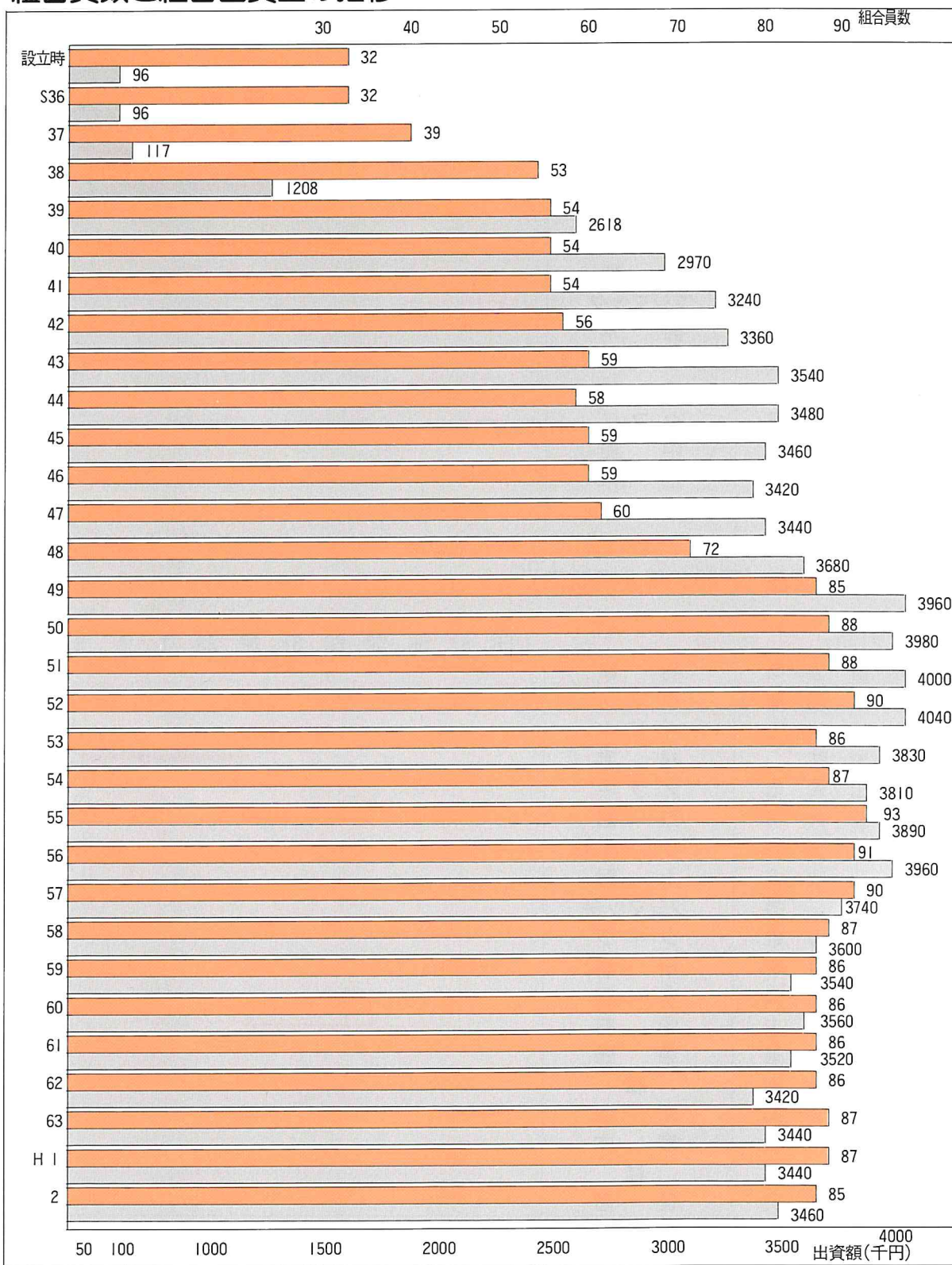


技術委員会 (昭和48年2月設立)



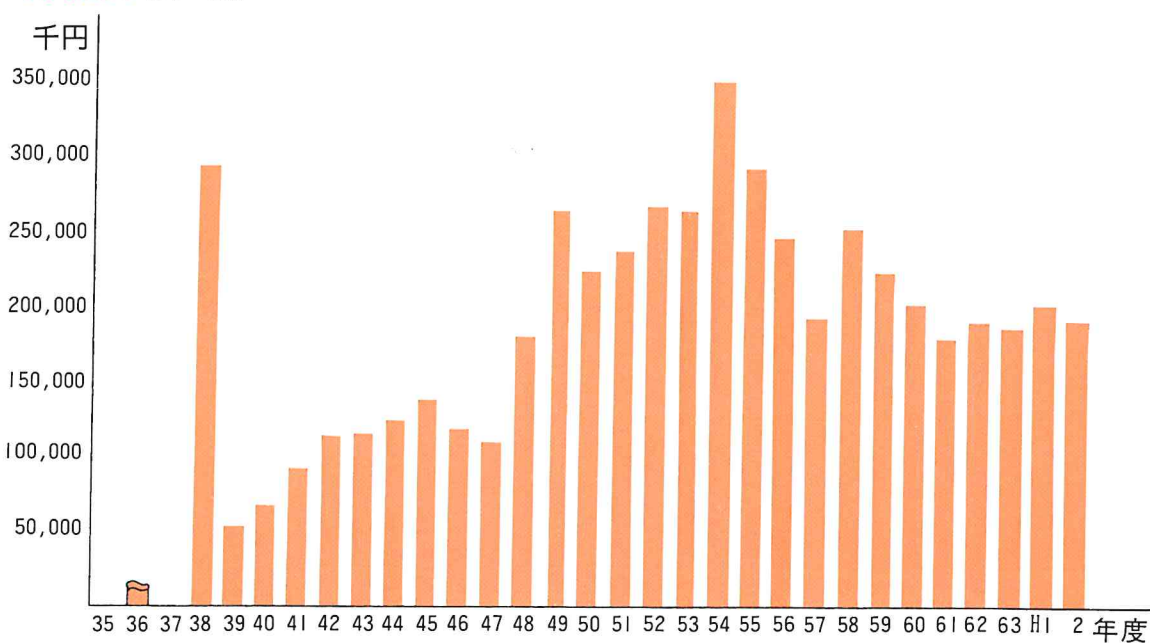


# 組合員数と組合出資金の推移

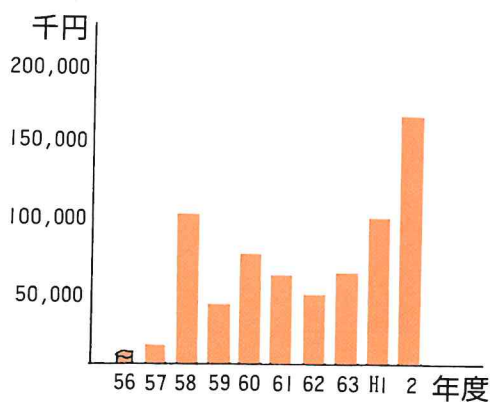


## 共同購入と共同受注の実績

### 共同購入 (商 品)



### 共同受注

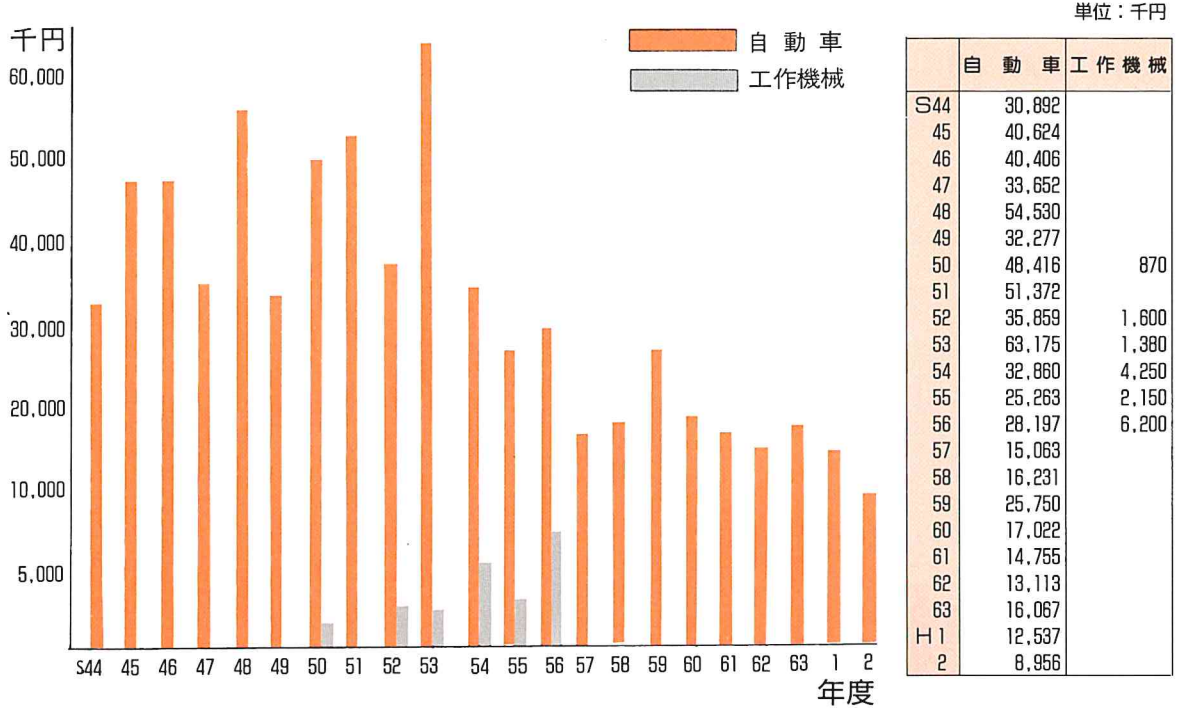


単位：千円

共同購入			
S 35	0	S 51	239,490
36	1,527	52	260,949
37	0	53	258,393
38	238,423	54	343,410
39	44,498	55	286,757
40	58,770	56	249,410
41	80,402	57	186,251
42	106,244	58	248,816
43	107,695	59	217,903
44	116,393	60	197,776
45	131,754	61	172,615
46	111,251	62	184,429
47	101,162	63	181,082
48	173,421	H 1	196,262
49	257,592	2	185,507
50	216,217		

共同受注	
S 56	9,432
57	18,270
58	94,594
59	32,122
60	68,748
61	50,777
62	39,657
63	53,221
H 1	92,766
2	158,988

共同購入（工作機械・自動車）



中小企業倒産防止共済受託

掛金の取扱

	社数	共催金
S56	7	1,100
57	8	2,010
58	8	1,980
59	12	2,110
60	12	2,640
61	12	2,500
62	12	3,580
63	12	2,880
H1	12	2,960
2		

貸付金の取扱

単位：千円

	件数	貸付金
S56	1	2,500
57	3	6,000
58		0
59	1	1,830
60		0
61	2	5,900
62	2	20,500
63	1	14,450
H1		0
2		0

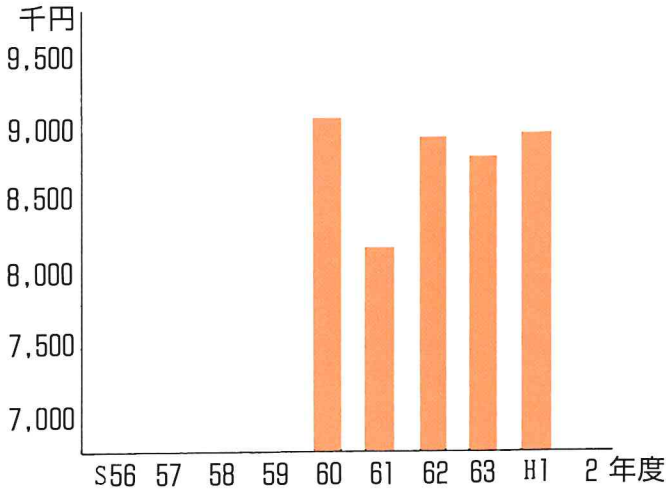
事業資金貸付

単位：千円

	社数	貸付金額
S56	5	26,000
57	3	18,000
58	3	18,000
59	3	12,000
60	2	12,000
61		
62		
63		
H1		
2		

福祉共済の推移 (グループ保険)

単位：千円



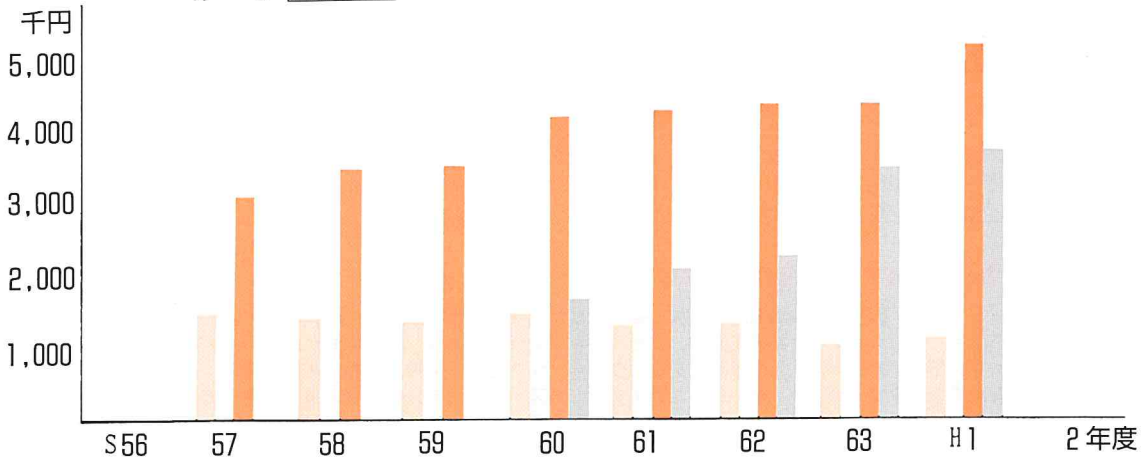
	口数	取扱保険料
S56	2,397	
57	2,344	
58	2,378	
59	2,167	
60	2,166	9,025
61	1,929	8,100
62	1,970	8,881
63	1,933	8,754
H1	1,921	8,990
2		

保険取扱の推移

単位：千円

自動車  
火災  
企業賠償  
ガン

	自動車		火災		企業賠償		ガン	
	件数	取扱保険料	件数	取扱保険料	件数	取扱保険料	件数	取扱保険料
S56	14		5		52	3,080		
57	11	1,322	5	1,021	55	3,387	40	
58	10	1,255	3	1,087	57	3,995	51	
59	10	1,215	4	1,213	57	4,139	51	1,565
60	19	1,322	31	1,153	56	4,228	72	2,006
61	17	1,176	33	1,276	57	4,311	65	2,231
62	13	1,197	33	1,299	57	4,298	108	3,360
63	13	930	33	1,182	58	5,084	118	3,614
H1	8	1,024	19	1,139				
2								



## 組合員各社優良従業員被表彰者 (昭和56年4月～平成3年3月)

第18回 昭和56	井谷 哲之/アフ 川上タマ子/エバ 細具 宥司/北山 中村 和夫/竹村 土屋 正夫/永富 三浦 兼司/細山	橋本 鶴吉/飯塚 照沼 道信/小越 西 良武/クマ 渡辺 靖/ダイ 浅沼 菊郎/永富 青木 新/墨水	笠井 邦彦/伊藤 小澤 勝秀/尾崎 盛本 昭夫/クレ 上野 征昭/戸井 崎山 春夫/日調 西宮 勝幸/松島	田中 昌/井上 齊藤 善則/オリ 高橋 三雄/サン 北野 篤治/遠山 須藤 嗣雄/エレ 小林 康男/宮本	島田 秋男/上野 水沢 宣二/桂精 遠藤 泰夫/三栄 千葉 久恵/東洋 野沢 敏男/ユニ 親川 栄徳/村幸	伊藤 純一/植野 宮島 武治/北川 有富 巧/新日 佐藤 敬/徳久 芝木 勝彦/富士 菊池 健二/八洲	藤野 友治/松島 廣川 省三/帯金 真境名兼芳/ダイ 藤岡 繁夫/富士	
第19回 昭和57	遁所 猛/飯塚 井戸 憲二/宮本 高道太三郎/オリ 田口清太郎/東洋 長迫 昭洋/富士	新井貴代志/村幸 坂野 博/クレ 齊藤 昭三/徳久 矢島 雄二/星電	山岸 薫/井上 長谷川満記/サン 山本 文夫/永富	三好 五月/富サ 金也/上野 鈴木 広義/鈴木 二瓶 春治/永富	半田 英二/尾崎 秋野 清/東洋 奥山 浩志/エレ	木村きよ子/クレ 今野 誠/徳久 岡野 勤/飯塚	浅井 貞治/新日 木藤 勝利/永富 藤原 俊彦/ダイ	
第20回 昭和58	牧戸 博美/井上 高塚 昇/谷口 中村 茂利/永富 鍛代 潔/富士	阿部 菊雄/上野 中野光太郎/谷口 篠原 周作/富士 山際 眞吉/村幸	乳井 好和/植野 佐藤シゲヨ/谷口 平井 裕/八洲					
第21回 昭和59	榎本 新一/長堀 福田 定/富サ 伊藤 光雄/オザ 永田 邦夫/ユニ	金森 文雄/長堀 國分 勇/細山 滑川 豊春/クレ 大浦 広晋/谷口	稲田 直/長堀 栗原 章男/村幸 中村 司/新日 菅野 健一/谷口	安永 安敏/村幸 磯 義雄/井上 村山 万理/徳久 渡辺 宏美/谷口	永田 武/鈴木 佐々木 賢/上野 山崎 直次/永富 木幡 正人/谷口	澤村 繁男/富士 今村 忠/エレ 清水 康夫/富士 中村 俊一/谷口		
第22回 昭和60	木村 謙一/鈴木 山際 広暎/細山 神谷 要/エレ 今田 眞寿/村幸	安藤弁次郎/東設 秋月 勲/細山 吉原 康子/オザ 高溝 力/ユニ	大西 武/富サ 糟谷 一郎/上野 前島 善道/クレ 小林 勲/クマ	大河内正輝/富サ 宮本 久雄/上野 梅本 清鷹/新日 児島 勉/クマ	鈴木 衛/富士 宇佐美 勇/上野 渡辺 栄/富士	中野 六凡/細山 薄井 繁/井上 石川 澄子/村幸		
第23回 昭和61	山本 邦生/富サ 川野 重男/上野 西山徳太郎/富士 菊地 寛/ユニ	大井 俊男/富サ 鈴木 勇吉/上野 永守 徹/富士 柳 沢 稔/ユニ	古椎 良臣/細山 山田 隆勝/エル 岡 武彦/松島	本田 幸男/細山 葛西 明/クサ 渡辺 佳光/村幸	梶原 洋治/井上 横沢嘉久司/クレ 小林 重夫/村幸	白井 アキ/上野 桑原 英児/新日 高橋 健一/ユニ		
第24回 昭和62	高野 正幸/富サ 長谷 浩然/佐藤 福田 満/富士	岩瀬幸太郎/井上 早川 靖和/佐藤 三好 達郎/星電	伊藤 清/上野 朝倉 エイ/佐藤 黒田 良彦/星電	齊藤 秋子/上野 瀬戸山友久/鈴木 浜野 憲/星電	伊藤 恭子/上野 奥 義之/鈴木 洲尾 恵/村幸	佐々木信義/クレ 谷 政博/富サ 山蔭 典子/村幸		
第25回 昭和63	城下 悦郎/富サ 高橋 和彦/上野 御幡 和孝/富士 吉原 勝美/村幸	星野 典博/富士 田島 正博/上野 今井 薫/星電	石松 千助/松島 豊田 正人/クレ 岡本 功/星電	小川 秀樹/井上 中村 司/新日 杉本 朱美/星電	今井 秀寿/上野 阿部 薫/富サ 鈴木 勇治/松島	川島 定雄/上野 岡山 利明/富サ 福島 謙/村幸		
第26回 平成1	若松 俊治/井上 丹羽 昌幸/東設 小沢 進/星電	木村 和彦/上野 小金井幸則/富サ 長谷川 昇/星電	斎藤 忠彦/クレ 福井 勝美/富サ 長谷川俊英/村幸	関本 徹/新日 堀口 浩/富サ 錦戸 淳一/村幸	長谷川政行/鈴木 植村 芳章/富士	鶴本 通彦/東設 四方天秀樹/富士		
第27回 平成2	恩田 正雄/クレ 沼本 猛/細山 前田 巖雄/カジ 竹島 直教/村幸	阿部 豊治/遠山 古屋 誠/細山 半田 修/新日 三平 忠男/村幸	金子 卓司/東設 藤井 順貴/井上 北野 篤治/遠山	佐藤紀三郎/遠山 櫻本 京子/上野 横山 雅規/富士	高橋 覚/遠山 滝 幸吉/オザ 小播 四郎/松下	黒田 儀高/富士 小林志津子/カジ 佐々木英子/松下		

— 略 称(特にわかりづらいものは以下のとおりです) —

エバ=エバホット工業(株)、製造=日本調理機製造(株)、商事=日本調理機商事(株)、日ス=日本ステンレス工業(株)、  
三冷=(株)東京三冷社、クレ=クレヴァ電機工業(株)、クサ=クレヴァサービス(株)、カジ=(株)カジワラキッチンサブライ  
イス=(株)イースタン商会、オリ=オリオン設備工業(株)、クマ=クマノ厨房工業(株)、東設=東京設備(株)、  
竹村=竹村総合設備(株)、アフ=アフターサービス設備工業(株)、大ス=大和ステンレス工業(株)、東特=東京特殊鋼材(株)  
服部=(株)服部製作所、ユニ=(株)ユニフロー、桂精=(株)桂精機製作所、コメ=(株)コメットカトウ、エレ=エレクター(株)  
エン=富士エンゼル(株)、富士=富士厨房設備(株)、富サ=富士厨房サービス(株)

## ●叙勲、国家褒章、大臣表彰を受けた組合員

(昭和56年4月～平成3年3月まで)

[叙勲 勲五等端褒章]	小越栄治郎	昭和59年春	
	熊谷 俊男	平成2年秋	
[国 家 褒 章]	熊谷 俊男	昭和59年	藍綬褒章
	上野 一雄	昭和61年	藍綬褒章
	加藤 景德	昭和62年	黄綬褒章
	細山喜三郎	昭和63年	藍綬褒章
	尾崎 和夫	平成1年	藍綬褒章
[大 臣 表 彰]	熊谷 俊男	昭和57年	通産大臣賞
	上野 一雄	昭和57年	通産大臣賞
	榎本 常治	昭和59年	建設大臣賞
	西山 喜一	昭和59年	文部大臣賞
	加藤 景德	昭和61年	建設大臣賞
	熊谷 俊男	平成1年	文部大臣賞
	西山 喜一	平成1年	文部大臣賞

## ●東京都中小企業団体中央会会長表彰

[功 労 役 員]	江口 次男	細山喜三郎	昭和56年
	宮本 一雄		昭和57年
	尾崎 和夫	鈴木 紘正	昭和58年
	永井 富造		
	榎本 常治	深沢 信生	昭和61年
	丹羽 正男		昭和62年
	采沢 賢一	二階堂博史	平成1年

## ●組合功労者顕彰

平成2年(30周年記念式典)

[永年組合員表彰]	イカリ工業(株)	(株)上野製作所	オザキ(株)	(株)鈴木商行
	(株)椿厨房具製作所	(株)東泉製作所	(株)徳久製作所	日本調理機(株)
	林田商事(株)	(株)福本製作所	(株)フジマック	細山熱器(株)
	(株)松崎製作所	村幸ステンレス工業(株)		

[功 労 役 員]	創立以来	熊谷 俊男		
	勤続20年以上	上野 一雄	小越栄治郎	
	勤続10年以上	尾崎 和夫	榎本 常治	佐藤 宏仁
		鈴木 紘正	二階堂博史	丹羽 正男
	深沢 信生	細山喜三郎		
永 年	采沢 賢一	梶原 徳二	佐藤 堯	
	谷口 光男	長宗 新作	富士田靖明	

---

## 編集後記

大変さやかな30年誌をようやく上梓することが出来ました。10年前の創立20周年記念誌を参考にして、以後10年間の組合の歴史を綴ってみました。

光陰矢の如し、本当にあっという間の10年のような気がします。当誌を制作するにつれ、諸先輩の方々が組合発展のために尽くされたご努力、ご尽力を改めて再認識するとともに、30年の歴史の重さを肩にずっしりと感じています。

もっと充実した内容をと、頑張ってみました。共同受注事業の盛況による事務局の多忙、記念式典の準備等々に追われ、なかなか十分なことが出来ず、申し訳なく思っております。不備な箇所も多々あると思いますが、ご寛容のほどお願い申し上げます。なにかお気付きの点などございましたら、ご感想をお寄せいただければ、幸甚と存じます。40周年、50周年記念誌制作の参考になるのではないかと思います。

最後になりましたが、編集にあたりまして快くご協力をいただきました皆様に厚く御礼申し上げますとともに、編集にあられました委員の方、事務局に感謝申し上げます。

(編集委員長 細山喜三郎)

---

編集委員 委員長 細山喜三郎 上野一雄 深沢信生

---

## 事務局員

事務局長	横山太助	共同受注・庶務担当	山内俊治
共同購入自動車購入担当	土田信幸	財務・庶務担当	大八木千恵子
		庶務担当	工藤裕美



# 組合創立30周年記念誌

発行日 平成33年11月

発行 関東厨房機器協同組合

30周年記念誌編集委員会